週刊 YEAR BOOK

1973 昭和48年

日録20世紀

9|23
平成9年9月23日発行
(毎週1回発行)第1巻第30号
¥560
講談社

ハイセイコー"不敗神話"

日本列島"トイレットペーパー狂騒曲!"
「8時だョ! 全員集合」超人気の秘密
白昼、2212号室から金大中が消えた

「ひたむきな姿が、日本人の胸を打った」女性週刊誌までが特集記事を組んだ

怪物ハイセイコーの"不敗神話"

▼公営の大井競馬で6戦6勝し、中央競馬に移籍したハイセイコーのデビュー戦・弥生賞が、3月4日、中山競馬場で行われた。写真は12万人の観客で満員のスタンド。

JRA提供

一頭のサラブレッドが日本中を沸かせた。「公営の怪物」として、鳴り物入りで中央に移籍したハイセイコーは、それまで競馬に見向きもしなかった人々まで巻きこみ、国民的アイドルとなった。ダービー、菊花賞と勝負には敗れても、なおかつ人気は過熱する一方。引退時にはレコードまで作られたのである。

「公営の怪物」から中央へ NHK杯を制し、一〇連勝

ゴールまであと二〇〇メートル。「不敗神話」を持つハイセイコーが五、六番手であえいでいる。先頭に立ったカネイコマとの差はまだ八馬身ほどある。もうダメだ！

昭和四八年五月六日、東京・府中の東京競馬場では、この年のNHK杯競走が行われていた。一七万人近いファンでごった返す場内は、溜め息や悲鳴まじりの異様などよめきに包まれた。

が、そこからハイセイコーは、グイッと加速するとカネイコマに迫り、ゴールを通過する時にはクビの差ほどかわしていた。まさに薄氷の勝利だ。一瞬、間をおいて、スタンドは再び沸き上がった。もちろん、歓喜のどよめきであった。

「負けたと思いましたから、あの勝ち方はすごかった。やっぱり『絶対』があるんだと思わせてくれました。これで、ハイセイコーは完全に僕にとって"アイドル"になってしまいました」

当時を振り返るのは、ハイセイコーに魅せられて以来の競馬ファン、本村雅人氏（東京大学教養学部教授）だ。

こうして辛勝ながらもNHK杯を制し

▲昭和49年3月10日、中山記念でのハイセイコー。トーヨーアサヒに大差をつけ、1着でゴールイン。 今井寿恵

◎表紙 昭和48年3月4日、中山競馬場での弥生賞で優勝、中央でのデビュー戦を飾ったハイセイコー。 JRA提供

「ひたむきな姿が､日本人の胸を打った」
女性週刊誌までが特集記事を組んだ

怪物ハイセイコーの〝不敗神話〞

たハイセイコーは、デビュー以来一〇連勝を達成。三週後の日本ダービーは、ハイセイコー一色に染まっていくのである。

昭和四五年、北海道・新冠の武田牧場で生まれたハイセイコー（父チャイナロック、母ハイユウ）は、四七年に、中央競馬ではなく、地方競馬で走り始めた。デビューの地、東京・品川の大井競馬場で六戦無敗、いずれも他を寄せつけない圧勝で無敵を誇り、四歳春には、鳴り物入りで中央競馬に移籍した。すでにハイセイコーの大物ぶりはマスコミで大きく報じられ、中央初見参の弥生賞（三月四日）には、「公営の怪物」見たさに一二万人もの観衆が中山競馬場（千葉県船橋市）に詰めかけた。スタンド前は文字どおり立錐の余地もなく、押し合いへし合いのファンが、フェンスを越えて馬場にこぼれ落ちるほどであった。

「騎手生活三五年の中で、ファンがポロポロと馬場にこぼれ落ちてくるなんて、後にも先にもあの時だけ。ハイセイコーの思い出では、それが一番強烈でした」

ハイセイコーの馬上にいた増沢末夫騎手（現・五九歳＝JRA調教師）は、その日を、こう述懐する。

ハイセイコーは、弥生賞を皮切りにスプリングS、そして四歳クラシック・皐月賞をも制してしまった。なみいる中央の〝良血〞サラブレッドを蹴散らして優勝した「怪物」を、マスコミは「シンザン以来の名馬誕生」とあおりたてた。さらには、冒頭で紹介したNHK杯での胸を締めつけられるような勝ち方ともあいまって、またたく間に日本中のアイドルと化してしまったのである。

ダービーでの支持率 空前絶後の六七パーセント

一〇戦一〇勝のハイセイコーが大本命として登場した日本ダービー（五月二七日）での人気は常軌を逸していた。単勝支持率（単勝の総売り上げに占めるハイセイコーの売り上げ）は、六六・六パーセントで、単勝オッズはなんと一一〇円。これは、日本ダービー史上、空前絶後の記録としていまだに破られていない。ちなみに、昭和五九年のシンボリルドルフが五八・六パーセント、平成六年のナリタブライアンでさえ、六一・八パーセントであった。

そのダービーで、ハイセイコーはタケホープ、イチフジイサミに次いで三着と敗れ、「不敗神話」は崩れ去ってしまう。だが判官びいきも手伝い、人気はますます過熱し、いわゆる「ハイセイコー・ブーム」へと突っ走っていく。それまでは競馬などにまるで見向きもしなかった女性週刊誌がハイセイコー特集を組めば、あろうことか、かつての長嶋茂雄、王貞治並みに「週刊少年マガジン」の表紙にも、ハイセイコーは登場した。〝ギャンブルの道具〞である競走馬が少年雑誌の表紙を飾るなど、思いもよらなかった時代のことである。

▲〝怪物〞のイメージとはほど遠い柔和な顔つき。神経質で夜の寝つきもよくなかったという。　朝日新聞社

その後、五歳の暮れまでライバル、タケホープらといくつもの名勝負を繰り広げ、二二戦一三勝という成績を残し、昭和四九年の一二月、ハイセイコーは引退した。増沢騎手は「さらばハイセイコー」をレコーディング、引退に花を添えた。

もちろん、騎手がレコードを出すなど初めて。しかも、四九年暮れにリリースされるや、たちまちラジオのヒットチャートを駆け上がり、トップを快走。街には、増沢騎手のけっして上手とは言えない歌声があふれたのである。

▲「さらばハイセイコー」のレコーディングをする増沢末夫騎手。　日刊スポーツ

ハイセイコーが戦った二二戦のうち、一九戦はいずれも圧倒的な一番人気に支持された。

「今、振り返れば、急成長してきた日本経済にもかげりが見えた時代でした。何でもカネ、カネという生き方に多くの人が疑問を抱き始めていた頃だと思います。調教師やオーナーはともかく、ハイセイコーはカネのためでなく、純粋に競走馬として走った。そのひたむきな姿が、多くの日本人の胸を打った。つまり、お金以上の何かをハイセイコーに託したのではないでしょうか」

本村教授は、ハイセイコー・ブームをこんなふうに分析する。

NHK杯で一〇連勝を達成し、日本中のアイドルとなったハイセイコーが、ダービーで敗れ、四歳クラシック第三弾の菊花賞（一一月一一日）でも敗れた頃、日本は突如、オイル・ショックに襲われた。

「誰のために走るのか、何を求めて走るのか……さらばハイセイコー」

増沢騎手は、こう歌った。ハイセイコーにおさらばした日本は、一気に戦後最大の不況へと急傾斜していったのである。

●ハイセイコー全競走成績

日付	競馬場	レース	人気	着順
47年7月12日	大井	未出走	1人気	1着
47年7月26日	大井	53万上	1人気	1着
47年9月20日	大井	秋草特別	1人気	1着
47年10月9日	大井	ゴールドJr	1人気	1着
47年11月11日	大井	白菊特別	1人気	1着
47年11月27日	大井	青雲賞	1人気	1着
48年3月4日	中山	弥生賞	1人気	1着
48年3月25日	中山	スプリングS	1人気	1着
48年4月15日	中山	皐月賞	1人気	1着
48年5月6日	東京	NHK杯	1人気	1着
48年5月27日	東京	日本ダービー	1人気	3着
48年10月21日	京都	京都新聞杯	1人気	2着
48年11月11日	京都	菊花賞	1人気	2着
48年12月16日	中山	有馬記念	1人気	3着
49年1月20日	東京	AJC杯	1人気	9着
49年3月10日	中山	中山記念	1人気	1着
49年5月5日	京都	天皇賞・春	1人気	6着
49年6月2日	京都	宝塚記念	2人気	1着
49年6月23日	中京	高松宮杯	1人気	1着
49年10月13日	京都	京都大賞典	2人気	4着
49年11月9日	東京	オープン	1人気	2着
49年12月15日	中山	有馬記念	3人気	2着

活躍したハイセイコーの子ども

名勝負と語り継がれるハイセイコーとタケホープの闘いはダービー以来合計9回。ハイセイコーがうち5回先着しているものの、ダービー、菊花賞、天皇賞と、ビッグレースはタケホープが制している。競走成績としては完全にタケホープに分があった。しかし、種牡馬としての勝負はというと、完全にハイセイコーがまさり、重賞を勝った数々の二世を送り出した。

●ハイセイコーの代表的産駒と勝ち鞍

中央：カツラノハイセイコ（昭和54年日本ダービー、昭和56年天皇賞・春など）、ハクタイセイ（平成2年皐月賞など）、サンドピアリス（平成元年エリザベス女王杯など）

地方：キングハイセイコー（昭和59年東京ダービー、羽田杯など）、アウトランセイコー（平成2年東京ダービー、羽田杯など）

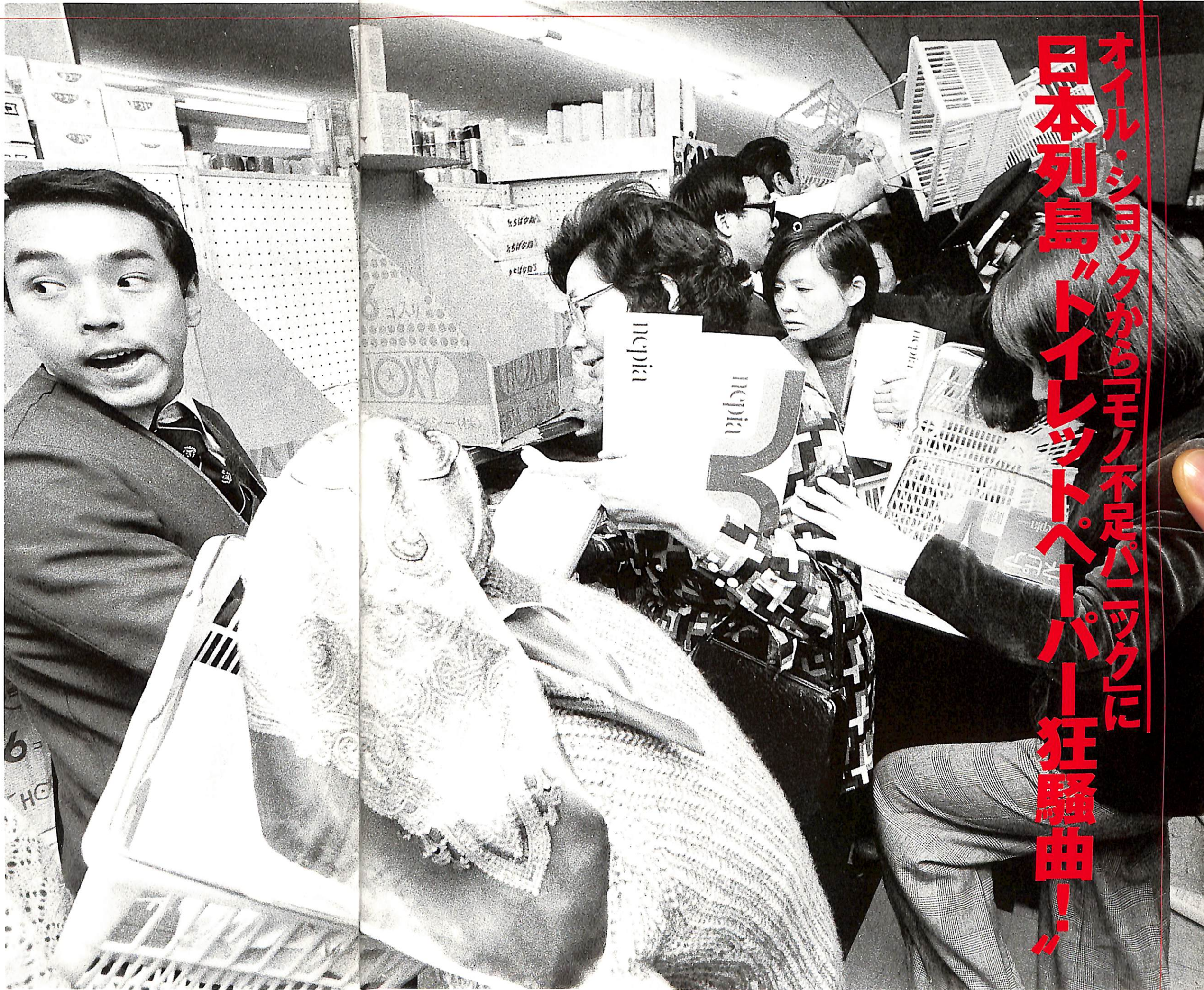
JRA提供

JRA提供

▲平成二年四月一五日、皐月賞を制したハクタイセイ。
◀昭和五四年五月二七日、日本ダービーで一着になったカツラノハイセイコ。

▶負けん気が強く、ほかの馬と並ぶと駆けすぎるきらいがあり、調教はいつも一頭だけで行われた。　朝日新聞社

オイル・ショックから「モノ不足パニック」に
日本列島"トイレットペーパー狂騒曲!"

▲すべて売り切れた逗子市のスーパーの洗剤売り場。「一人1箱」の制限つきだった。 時事通信社

▲11月21日、ティッシュペーパーの売り出しに主婦が殺到した東京・青山のスーパー。関西で始まった買いだめパニックは、またたく間に全国に波及、トイレットペーパーをはじめ、洗剤、砂糖などが買いだめの対象品だった。 共同通信社

昭和四八年一〇月六日、イスラエル軍とエジプト・シリア軍はスエズ運河東岸とゴラン高原で、陸・海・空三軍を動員した大規模な戦闘に突入した。この第四次中東戦争の勃発は、日本にも深刻な石油危機を招き、「モノ不足パニック」という形で日本列島を直撃した。

一週間分の在庫が一時間で売り切れ

一一月一日の大阪郊外のマンモス団地、千里ニュータウン。安いトイレットペーパーのチラシを見た主婦二〇〇人が午前一〇時の開店を前に、大丸ピーコックストアに押しかけ、シャッターが開くと同時に、トイレットペーパーめがけて殺到。一週間分の在庫がわずか一時間で姿を消した。

翌二日、今度は尼崎市内の灘神戸生協スーパー。店頭に「トイレットペーパーの入荷量には不足はありません」の張り紙があるにもかかわらず、主婦たちは、一人でトイレットペーパーを四、五パックも抱え、買えなかった人は店員をつかまえて、「奥にある在庫を出せ」と詰め寄るなど売り場は大混乱。八三歳の老婆が左足骨折で二ヵ月の重傷を負う事態をも引き起こした。

また一一月一六日、藤沢市のスーパーでの砂糖の安売りには、四〇〇〜五〇〇人の主婦が押し寄せ、一五分たらずで用意した六〇〇袋がなくなった。

石油の供給制限による生産削減で、「モノ不足」が発生するという噂が日本中に飛びかい、以上のような買いだめ騒動が全国で続発。新聞、雑誌には「物価高」「モノ不足」「生活防衛」「暴動」といったセンセーショナルな見出しが躍った。

商品を提供する商店側も大混乱におちいった。ダイエーの本部担当バイヤーだった玉井義之氏は、当時の騒然とした状況について「担当商品は午前中で全部なくなり、午後は連日メーカーの事務所、倉庫を回り、深夜まで相談しました。一ヵ月ほど休みなし、着替えなしでした」と『ダイエーグループ35年の記録』の中で語っている。

このような騒動はなぜ引き起こされたのか。

当時、経団連のエネルギー記者クラブに所属した毎日新聞経済記者の小邦宏治氏は、「消費者が冷静で買い急いだりしなければあんな騒ぎにはならなかったでしょう。中東とのパイプが一本もなかったため、政府もメディアも極端な情報不足で、先のことはわからず、的確な予測ができなかったことが最大の原因」と分析する。

▲昭和48年12月25日、クリスマスの朝に灯油販売の列に並ぶ人々。買えるのは一人1缶のみ。都内の団地で。 読売新聞社

弱点をさらけ出した「石油依存国」日本

オイル・ショックは、日本にとっては、まさに青天の霹靂であった。

「最初はまた戦争が始まったか、というぐらいにしか考えていませんでした。以前もそうでしたが、中東の戦争と石油は直接結びつかなかったですからね」

こう語るのは当時、石油連盟の調査部長だった多々井全二氏である。

しかし、一〇月六日に戦闘が始まってから一一日後の一〇月一七日、OAPEC（アラブ石油輸出国機構）加盟一〇ヵ国は、同年九月の生産量を基準に毎月五％の生産削減を決定した。

その前日には石油の生産、価格カルテル組織であるOPEC（石油輸出国機構）加盟のペルシャ湾岸六ヵ国が、公示価格の二一％引き上げを決定していた。それを受けて石油の販売権を牛耳っていたメジャー（国際石油資本）のシェルなど二社は、一〇月二三日、日本向け原油価格の三〇％値上げを通告するにいたった。

通産省は一〇月一七日、「石油備蓄は七九日分ある」との声明を出し、不安を打ち消すのに躍起だった。しかし、石油消費量の九九・七％を輸入にたより、七七・五％の原油を中東に依存、そのほとんどをメジャーから買い入れていた日本にとっては、まさに死活問題だった。

ただ、商社などが産油国の直接販売原油を買いあさったこともあり、最も深刻になるはずだった一二月の原油輸入量はオイル・ショック直前の九月に比べ、一二％程度の減でしかなかった。まさに「国際資本と産油国の戦略に、してやられた」（多々井氏）形となった。

こうして輸入量は確保できたものの、原油価格は、七四年一月には第四次中東戦争前の一バレル三ドルから一一・五ドルと約四倍に跳ね上がる。結果としては物価高騰だけが残った。たとえば、自動車用レギュラーガソリン。九月には、卸価格一リットル当たり四八円だったものが一〇月には五一円、一一月には六二円と引き上げられ、町のスタンドでは七八円から八五円もした。またトイレットペーパーは長さ六五メートルのもの四個入りが、この夏一六〇円前後で売られていたが、一時、三六〇円と倍以上にもなった。

この一連の騒動を通じて、情報の重要性が浮きぼりになった。オイル・ショックは、情報不足から危機に対する冷静な対応ができない、日本の危機管理の不備をも露呈したのである。

▶この年一二月二五日、OAPEC石油担当相会議でサウジアラビアのヤマニ石油相が、日本などの友好国には石油を必要量供給と宣言。 WWP

女たちの肖像

性意識改革に体当たり！ロマンポルノ、田中真理の〝ジャンヌ・ダルク〟ぶり

稲葉真弓

昭和四六年、経営悪化により大映が倒産したのをはじめ、各映画会社が斜陽に苦しんでいた中、起死回生の一打として、日活が放ったのが「にっかつ・ロマンポルノ」だった。第一作は四六年一一月公開の「団地妻・昼下りの情事」（白川和子主演）と「色暦大奥秘話」（小川節子主演）だったが、この年四八年には七〇本もの作品が作られ、第一期黄金時代へと突入していく。中でも、〝ポルノ映画のジャンヌ・ダルク〟と圧倒的人気を得たのが田中真理（二二）だった。

四七年一月、警視庁はポルノ映画に歯どめをかけるため日活を手入れし三本の映画を猥褻図画公然陳列罪で摘発したが、その中に田中真理主演の「恋の狩人（ラブ・ハンター）」（山口清一郎監督）があった。取り調べを受けた彼女は敢然と国家権力に反発。「猥褻って権力が勝手に決めた言葉でしょ！」と戦闘的な発言をし、「反体制女優現る」と全共闘なき後の若者たちをしびれさせたのである。彼女は四月にも、主演映画「愛のぬくもり」で書類送検されたがポルノ弾圧に真っ向から向き合い「性意識改革」に体当たり。美しい裸身を惜しげもなくさらし、一年余で一六本の映画に出演、雑誌の対談のほか各地の大学祭に招待されるなどマスコミを席巻した。

日活ポルノ猥褻裁判は、五三年七月無罪判決が下りたが、裁判中の「ツッパリ発言」が会社側に敬遠されたこと、自分の企画した映画が実現しなかったことなどから、彼女は五〇年日活を退社、演技派女優をめざした後、五五年引退した。

田中真理の人気はストレートな発言と同時に、エキゾチックな顔立ちと白い膚にあった。昭和二六年、薬局の娘として東京・目黒区に生まれた彼女は、白系ロシア人の血を引く家系。祖母はロシアのバクー油田会社の重役の娘。〝亡命〟投手として知られ、戦前戦後とプロ野球で活躍したスタルヒンは、彼女の叔父にあたる。国境を越えた恋を成就させた祖父の過激な血は、真理の父親にも流れていて、高校二年で日活のニューフェイスとして合格した娘に、ポルノ路線に転向した会社から「脱がないか」と声がかかった時、「やりたいならトコトンやれ」と励ましたのはこの人である。

女優引退後の彼女は昭和五六年、照明マンと結婚、現在は一人娘の教育に熱中する日々を送っているという。

◀〝ロマンポルノの星〟とも言われた田中真理。日活退社後は、ATG「北村透谷・わが冬の歌」などに出演した。 毎日新聞社

勝者・敗者

人格云々もなんのその三年で横綱に昇進した〝横紙破り〟輪島の実力

阿部珠樹

昭和四八年、スポーツ界は三匹の〝怪物〟が話題となった。競馬のハイセイコー、高校野球の江川卓、そして大相撲の輪島大士（二五）である。

大相撲の横綱審議委員会は、五月の夏場所終了後、大関輪島の横綱昇進問題を協議した。夏場所で全勝優勝をはたし、その前の四場所も優勝に準ずる成績を残してきた輪島は、推薦条件を十分に満たしていた。一部の委員からは、「人格的に問題はないか」「ひげを伸ばしたまま土俵に上がったのは見苦しい」といった意見も出たが、実力を認める声がそれらを圧した。最後は満場一致で五四代横綱に推薦が決まった。

横綱推薦の知らせを聞いた輪島は、「オレ、いい星の下に生まれたんだな」と、キザな科白を吐いた。歴代の横綱が、緊張と責任の重大さから身を固くして推薦の知らせを聞いたのとは、あまりに対照的な受け答えだった。

そして、報道陣を尻目に、「今夜は友達と飲みに行く」と言い残し、さっさと会見場をあとにした。「怪物」たるゆえんである。考えてみれば、横綱審議委員会で人格が云々されるあたりも、いかにも輪島らしいと言える。

日大時代、二年連続学生横綱となり、七〇年初場所、花籠部屋から幕下付け出しでデビューした輪島は、左四つ、下手投げを得意とし、「黄金の左」と呼ばれた。そしてあらゆる点で横紙破りの力士だった。

まげが結えないザンバラ髪の時、みっともないからと美容院でパーマをかけたり、四股や鉄砲などの伝統的な稽古よりもランニングに重点をおいたり、大統領が乗るような高級外車で場所入りしたり、輪島の周囲には話題がつきなかった。もちろん、そうした横紙破りが認められたのも、デビューからわずか三年あまりで横綱に駆け上がるという抜群の実力があればこそだった。

横綱となった輪島は、翌年に横綱になる北の湖とともに、親友の大関貴ノ花、大相撲の次代を担う大看板に成長していく。

▲第54代横綱に推挙され、相撲協会の尾車・立浪の両使者に、「慎んでお受けします」と神妙に答える輪島（左側中央）。

1月

WWP

▼玉本ハーレム崩壊（1月8日）タイのチェンマイで、13歳から20歳まで7人の〝妻〟を持つ日本人が人身売買容疑で逮捕された。後、覚醒剤密輸事件に発展。

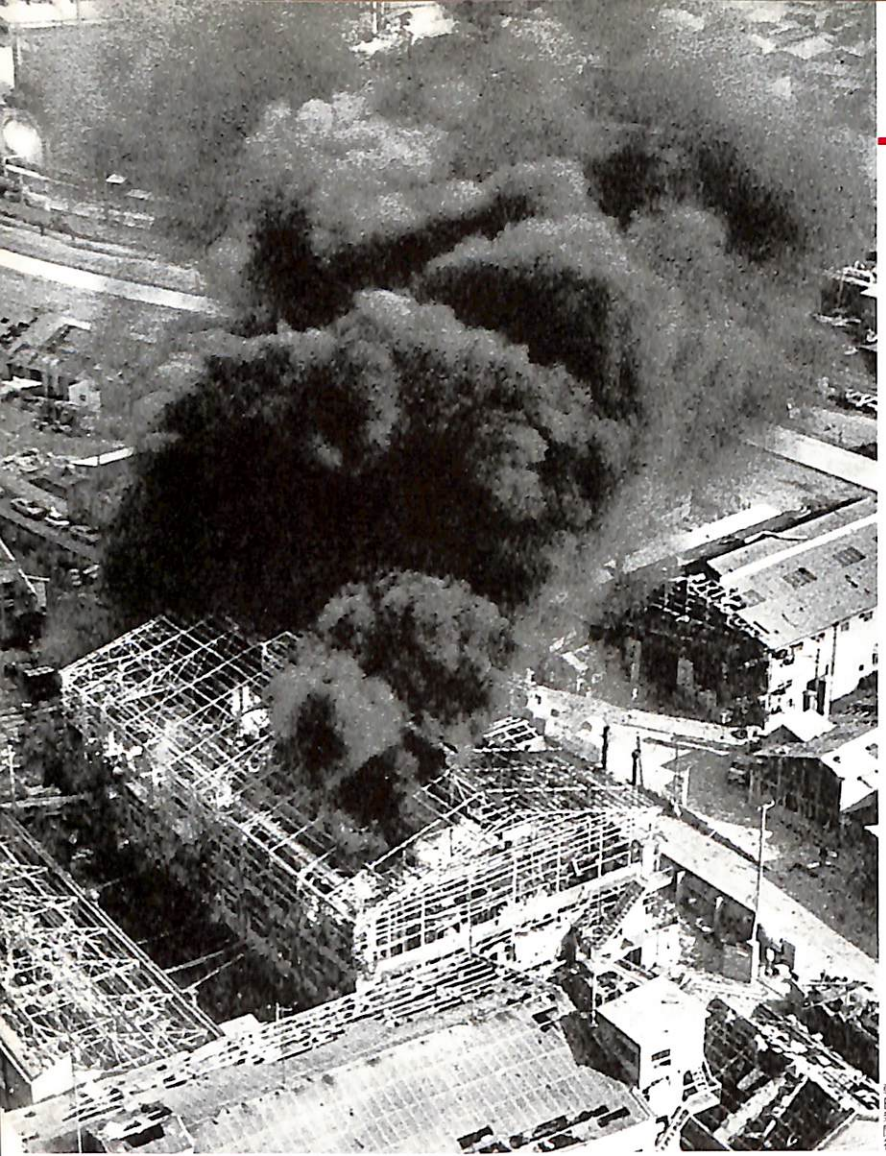
▲米・南北両ベトナムが、パリ和平協定に調印（1月27日）米軍の60日以内の撤退、和解評議会の設置などが定められたが、戦闘はさらに2年余り継続した。

共同通信社

▲女性の敵「晴れ着魔」（1月4日）大阪の商店街や地下鉄の電車の中で油性インクをかけられたり、鋭利な刃物で切り裂かれたりする被害が続出。仕事始めに着物で盛装した若い女性6人が写真のような災難にあった。

共同通信社

共同通信社

◀大場政夫、事故死（1月25日）WBA世界フライ級王者が首都高速道路の大曲カーブ付近を走行中、中央分離帯を越え大型トラックと正面衝突。日本記録となる5度目の防衛をはたして20日ほど。23歳の若さだった。

朝日新聞社

▲東亜ペイント大阪工場爆発（1月20日）4棟を全焼、91人が重軽傷。ガラスが割れるなどの被害は半径1キロにおよんだ。原因は接着剤製造に使う反応釜の過熱だった。

朝日新聞社

◀「おじさん横綱」琴桜誕生（1月24日）2場所連続優勝の成績に横綱審議会（委員長・舟橋聖一）が満場一致で推挙。第53代目。32歳、大関在位32場所のベテランだった。

昭和48年1月

1（月）●七〇歳以上の老人医療費の無料化実施。●英国など三ヵ国がECに加盟。拡大EC発足。

2（火）●韓国の金浦空港で「キーセン観光に反対する女たちの会」が日本人観光客に抗議行動。

3（水）●北欧で日本人麻薬密輸グループ摘発が判明。

4（木）●郵便局、定額貯金など担保に貸付制度を開始。

5（金）●平壌の高校サッカーチームが初来日。

6（土）●立川市、米軍基地内居住の自衛隊員一七人の住民登録受け付けを保留。

7（日）●大蔵省、賃貸中心から持ち家中心へ、住宅政策を変更、と新聞に。

8（月）●法務省、麻薬使用で有罪判決を受けたとの理由で、歌手ミック・ジャガーの入国を拒否。

9（火）●首都圏住民、定数不均衡で衆院選無効と提訴。

10（水）●中労委、公害内部告発での解雇は不当と裁決。

11（木）●北京に日本大使館開設。

12（金）●日銀、前年の卸売物価上昇率は八・五％で昭和三一年以来の高騰と発表。

13（土）●菅原文太主演「仁義なき戦い」封切。

14（日）●最大規模の日教組教研集会、和歌山市で開幕。

15（月）●空前の伸び率二四・六％の今年度予算案決定。

16（火）●日拓ホーム、プロ野球パリーグの東映を買収（11月17日、日本ハムに譲渡）。

17（水）●沖縄県、糸満市に二八年間放置の沖縄戦犠牲者の遺骨三〇〇体の収集を開始。

18（木）●地球規模で異常気象。モスクワは暖冬、インドで凍死者、日本は各地で大雨、と新聞に。

19（金）●最高裁、「目白」を残すよう求めた東京・豊島区民に、住民に町名選択権はないと判示。

20（土）●国鉄、東京に国分寺コンピュータ・センターを開設。座席の自動予約を全面的に実施。

21（日）●アイヌ結束めざす「全国アイヌを語る会」発足。

22（月）●民音、実弟・かとう哲也出演問題で美空ひばり公演を中止と決定（各地でキャンセル続出）。

23（火）●アース製薬、「ごきぶりホイホイ」を発売。

24（水）●二場所連続優勝の琴桜、横綱に昇進。

25（木）●世界フライ級王者・大場政夫、交通事故死。

26（金）●大規模取引の届出制など土地対策要綱を決定。

27（土）●パリでベトナム和平協定調印。

28（日）●世界的な大豆不作で豆腐が急騰、と新聞に。

29（月）●文部省、政令による廃校に反対して存続運動中の沖縄大に、今年度学生募集中止を要求。

30（火）●大蔵省、土地取得融資抑制を金融機関に通達。

31（水）●沖縄の自衛隊機、ソ連機接近で初の緊急発進。

ニュース・ファイル 1973

フォト＋日録で再現する365日

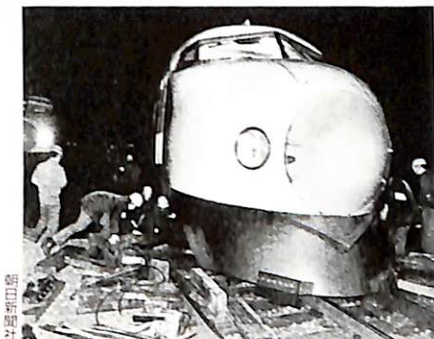
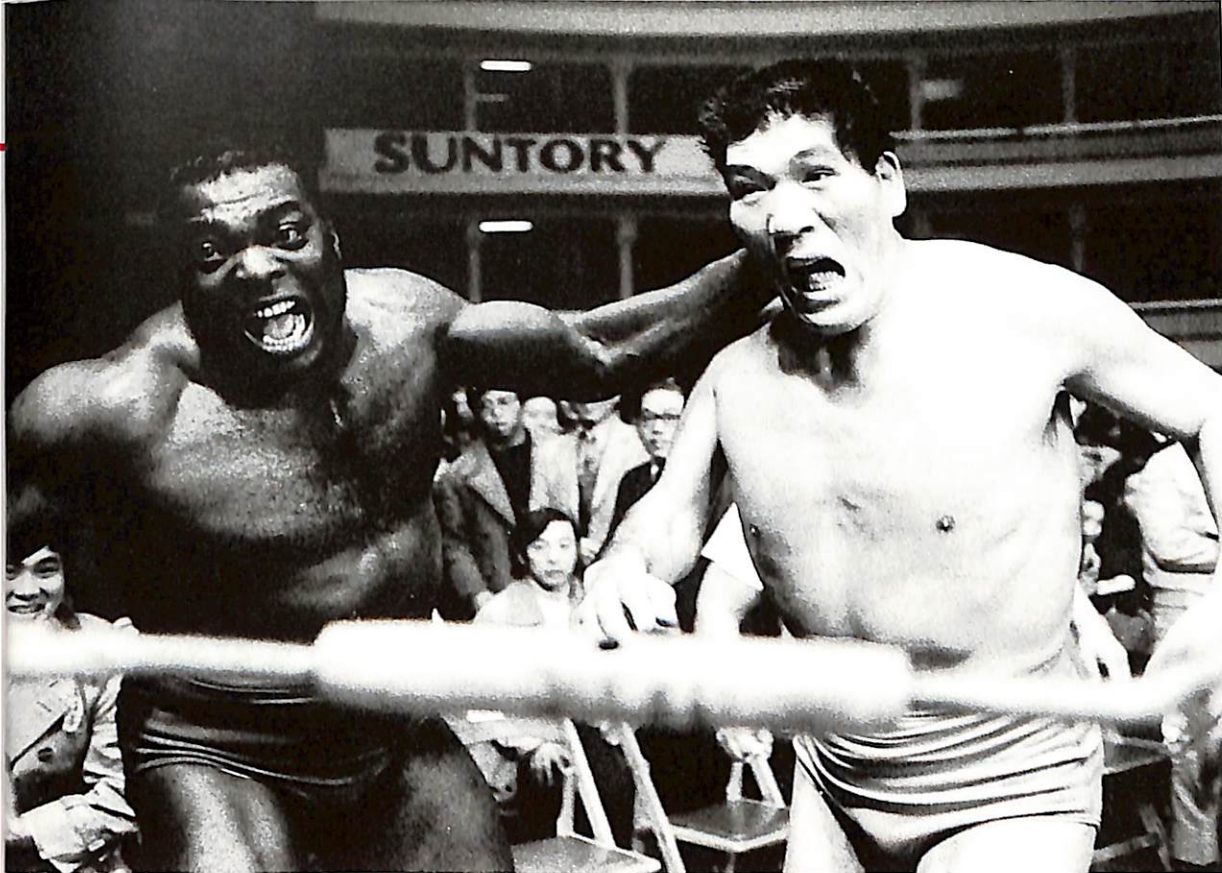
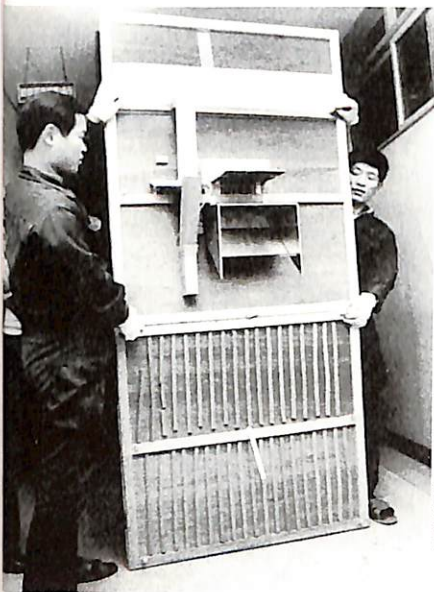
新橋—上野間「ジャンボ歩行者天国」に一一四万人の人出。高度経済成長はまさに絶頂。しかし、その裏で商社による買い占め・売りおしみが発覚、国鉄ストに暴動が起きるなど混乱も重なる。そして一〇月のオイル・ショック。日本経済は大転換を迫られることになった。

◀新橋—上野間に歩行者天国（6月10日）昭和45年に銀座中央通りで開始された車道の歩行者への開放を、新橋から上野まで5.5キロに延長。写真は万世橋近く。日曜日とあって約114万人が繰り出した。

朝日新聞社

日刊スポーツ

◀**ジャイアント馬場、PWF王者に(2月27日)**東京の両国日大講堂で行われた世界選手権争覇戦決勝で16文キックが炸裂、「黒い魔人」ボボ・ブラジルを下した。写真は馬場を襲う魔人のココバット(頭突き)。

朝日新聞社

▲**東海道新幹線で初の脱線(2月21日)**大阪の鳥飼車両基地から下り線を回送中、先頭車両が脱線。開業以来初めてのことで、下り全列車と上り15本が運休した。

▼**ニセ夜間金庫(2月25日)**大阪市北区の三和銀行に出現。本物を故障させベニヤ板製の偽装金庫(写真)を置いた。2576万円余が預けられたところで客が発見、未遂に終わった。

毎日新聞社

読売新聞社

▲**中国大使館開設(2月1日)**日中共同声明に基づき、東京・紀尾井町のホテルニューオータニ内に設置。初代駐日大使には陳楚が就任した。写真はピカピカの銅の表札を取り付ける大使館員。

読売新聞社

◀**美空ひばりショー、ボイコット(2月3日)**暴力団との関係を噂される実弟・かとう哲也の出演に主催者などが難色、この日までに17ヵ所で公演が中止された。「紅白歌合戦」の選にももれた。

CORBIS-BETTMANN/PPS

▲**米先住民、町を占拠して差別に抗議(2月27日)**19世紀末、騎兵隊の乱射で死者多数を出したウォンディドニーを約300人が1ヵ月以上占拠。特別居留地の劣悪な環境を訴えた。

昭和48年2月

1(木)●環境庁、宮崎県高千穂町の土呂久鉱山による慢性砒素中毒を「公害病」に指定。
●東京に中国大使館開設(初代大使は陳楚)。
2(金)●米、本田のCVCCエンジンが排ガス規制に合格と発表(5日、マツダのロータリーも)。
3(土)●農林省、大豆暴騰で業者に放出要請。
4(日)●大阪の高校教諭宅で卒業生による缶爆弾爆発。
5(月)●東京・渋谷駅のコインロッカーで嬰児の死体発見(コインロッカーへの遺棄事件続発)。
6(火)●那覇と岩国で墜落など、米軍機の事故続く。
7(水)●横浜市、人口急増で「転入不可能校」を指定。
8(木)●国労・動労、スト権奪還順法闘争を開始。
9(金)●公取委、観光地の土産物を調査し、二五八点中一一六点を上げ底などで不合格と判定。
10(土)●那覇防衛施設局、公有地の基地使用を拒否する那覇市などに五年間強制使用通告を発令。
11(日)●四六年度の全国自治体への公害苦情は七万六〇〇〇件と、公害等調整委員会速報。
12(月)●栃木県、ゴルフ場造成申請九件すべてを保留。
13(火)●全警察に商社の米買い占めの実態調査指示。
14(水)●円の「変動相場制」移行を実施。
15(木)●野坂昭如、「面白半分」誌の「四畳半襖の下張」掲載で東京地検に出頭(21日起訴)。
16(金)●厚生省、都消費者連合会の飼料用石油タンパク製造禁止要請を拒否。
17(土)●広島産養殖カキから高濃度カドミウム検出。
18(日)●自民党大阪府連、「赤旗」に対抗し、一般紙買収などの広報活動方針を採択。
19(月)●大阪の千日デパート火災の五二遺族が一三億円余の損害賠償請求を提訴。
20(火)●中原誠、大山康晴を破り初の王将位獲得。将棋の三大タイトルを独占。
21(水)●東海道新幹線(回送電車)で初の脱線事故。
22(木)●連続女性誘拐殺人事件の大久保清に死刑判決(一審確定。51年1月処刑)。
23(金)●東大、初めて盲人の点字による受験を認める。
24(土)●古河鉱業、鉱毒事件の足尾銅山を閉山。
25(日)●大阪市の三和銀行でニセ夜間金庫事件発生。約二五七六万円投入後六九人目の客が発見。
26(月)●銀行協会、物価高騰に商社が関係などの批判に対応し、大手一〇商社への融資自粛決定。
27(火)●米先住民が差別撤廃・生活環境改善などを要求し、ウォンディドニーの町を占拠。
28(水)●公取委、歯磨メーカーに誇大表示改善を要請。

サル・ヴィーダー(AP) WWP

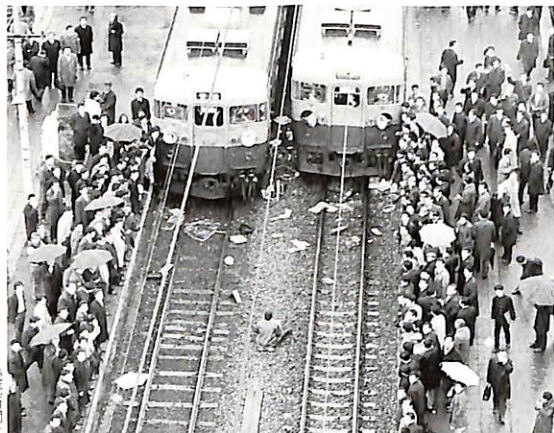
▼**家族のもとへ(3月19日)**ベトナム和平協定により、3月12日から捕虜の交換が始まった。写真はカリフォルニアの空軍基地で。3月29日には米軍の撤退が完了、ニクソン大統領は「戦争終結」を宣言した。

朝日新聞社

▲**北九州市の済生会八幡病院で大火(3月8日)**未明、診察室から出火。鉄筋一部5階建てのうち880平方メートルを焼き、老人・子どもなど、逃げ遅れた入院患者ら14人が死亡した。写真は病院から運び出される遺体。

▼**「怪物」江川旋風(3月)**第45回選抜高校野球大会に作新学院のエースで登場。準決勝で広島商に破れたが、4試合で60奪三振の大会新記録を達成、豪腕ぶりを発揮した。写真は31日、2回戦の対小倉南戦での力投。

▼**チッソの水俣病過失責任確定(3月20日)**熊本地裁は水俣病第1次訴訟で、患者らが要求する最高一人1800万円の慰謝料などの支払いを企業側に命令。力を得た自主交渉派(写真)も22日から直接交渉を開始、7月に妥結した。

浜口タカシ

読売新聞社

▲**上尾騒乱(3月13日)**国労・動労の順法闘争2日目、高崎線上尾駅で動かない列車に怒った人々が電車の窓を割り、駅長室に乱入するなど大暴れ。7人が逮捕された。写真は窓ガラスを破られた電車と、線路に座りこんで抗議する乗客。

日刊スポーツ

昭和48年3月

1(木)●アラブ・ゲリラ「黒い九月」、スーダンのサウジアラビア大使館を占拠(大使などを殺害)。
2(金)●野生動植物保護のワシントン条約採択。
3(土)●米で木材価格高騰、日本商社へ批判高まる。
4(日)●公営競馬から移籍したハイセイコー、中央競馬第一戦の弥生賞で一着。
5(月)●美空ひばりの実弟・かとう哲也、賭博で逮捕。
6(火)●相撲の新弟子検査で戦後最高の六六人が合格。
7(水)●国鉄運賃値上げ阻止などで、六年ぶりに全野党共闘復活。
8(木)●警察庁、覚醒剤検挙が前年同期の七倍と発表。
9(金)●公取委、セメントメーカー一三社などを闇価格協定締結容疑で立ち入り検査。
10(土)●北海道の熊牧場で羆二頭が脱走、一人を噛み殺し、二人が重軽傷。
11(日)●東京二三区内の電話料金が三分七円になる。
12(月)●ボクシングの柴田国明、世界J・ライト級の王座を獲得し、二階級制覇。
13(火)●高崎線上尾駅で順法闘争に怒った乗客が暴動。
14(水)●ニューヨークの絵画競売で日本画商が、米で活躍した国吉康雄の絵を二二万ドルで落札。
15(木)●作家・大西巨人、血友病の長男の入学を拒否した高校長らを、職権乱用で浦和地検に告訴。
16(金)●川鉄商事、ソ連とのダイヤ長期輸入契約締結。
17(土)●米映画「ポセイドン・アドベンチャー」封切。
18(日)●相撲協会、行司を各相撲部屋所属に決定。
19(月)●小松左京「日本沈没」刊行。
20(火)●熊本地裁、水俣病訴訟でチッソの過失責任を認め、患者側全面勝訴の判決。
21(水)●阪神の村山実、甲子園で引退記念試合。
22(木)●戦国以来の銀山、兵庫県の生野銀山が閉山。
23(金)●食糧庁、餅米買い占め調査結果を発表。五八〇〇トン摘発、噂のあった大手商社摘発はゼロ。
24(土)●青山学院大学の教授、研究室での女子学生への婦女暴行致傷で起訴される。
25(日)●都主催最後の競艇閉幕(都営ギャンブル全廃)。
26(月)●画家・梅原龍三郎、仏のコマンドール章を受章。
27(火)●マーロン・ブランド、アカデミー主演男優賞を「映画での先住民の表現が不当」と拒否。
28(水)●政府、フィリピンのラグナ州に海外初の戦没者慰霊碑を建立。
29(木)●ベトナム駐留米軍の撤退完了。
30(金)●平等院鳳凰堂の金銅鳳凰、修理終え国宝指定。
31(土)●愛媛県の別子銅山(一六九〇年発見)、閉山。

▲赤ちゃん斡旋（4月17日）宮城県石巻の新聞に産婦人科医・菊田昇氏（写真）が広告を出して問題に。中絶しないように説いて出産させた"未婚の母"の子を子供のほしい夫婦約100組に紹介していた。

朝日新聞社

▲パンダ、新居へ引っ越し（5月7日）前年、日中国交回復を記念して中国から贈られて人気者になっていたカンカン、ランランの2頭が専用舎へ移った。建築費4000万円で産室・冷暖房完備。

読売新聞社

▶大相撲北京場所（4月3日）日中国交回復を記念。この日琴桜ら横綱陣を含む117人が日本を出発、北京市と上海市で7日間の熱戦を披露した。写真中央は着物に人民帽姿で万里の長城を歩く横綱北の富士。

読売新聞社

▲国電暴動（4月24日）公労協が統一ストに突入。国労・動労が順法闘争を開始すると、首都圏26駅で乗客が駅事務室や電車を破壊するなどの騒動に。138人が逮捕され、国電は翌朝までほぼ全面ストップ。写真は上野駅。

▶100円で236万円の超大穴（4月9日）千葉競輪で先頭を走っていた選手が転倒、本命・対抗を含む後続の7選手が次々落車したための珍事。当たり券はわずか11枚だった。写真の下から3段目、第7レースがその記録。

共同通信社

▶6大商社の「買い占め」追及（4月11日）衆院物価問題特別委が各社代表を参考人として喚問、不当な投機・売りおしみなどを追及したが、のれんに腕押しで議論はかみ合わなかった。

毎日新聞社

昭和48年4月

1（日）●金地金の輸入自由化。一キロまで無税に。
2（月）●地価公示価格発表。前年比三〇・九％の暴騰。
3（火）●通産省、商社買い占めで高騰の衣料品買い控え提唱（4日、消費者五団体が不買運動決定）。
4（水）●スティーブ・マックイーン、写真無断使用で電通などを東京地裁に提訴。
5（木）●松下電器、カートリッジ式VTRを発売。
6（金）●「暮らしやすさ」で東京は世界一〇位と通産省。
7（土）●米反戦映画「ジョニーは戦場へ行った」封切。
8（日）●樋口久子、第一回世界レディス・ゴルフで優勝。
9（月）●千葉市営競輪で七選手が落車し、史上最高二三六万円の払い戻し。
10（火）●田中首相、小選挙区制導入を表明（5月11日野党は審議拒否。16日改正案上程断念）。
11（水）●衆院特別委、大手六商社代表を参考人招致。
12（木）●祝日法改正。日曜と重なると翌月曜も休日に。●沖縄の米訓練場で、老婆が戦車に轢かれ死亡。
13（金）●ルバング島の小野田元少尉の捜索を打ち切る。
14（土）●パリーグが前期・後期制採用し前期開幕。
15（日）●前年の海外旅行者は一三九万人で前々年の二倍以上、入国者は六六万人と法務省発表。
16（月）●中国各界を代表する大型訪日団来日。団長の廖承志は「子々孫々のつきあいを」と挨拶。
17（火）●年金改善・週休二日制導入など求め、全国統一スト。五三単産、三五〇万人が参加。
18（水）●エースコック、カップ麺の実用新案権侵犯を認め、日清食品への技術使用料支払いに同意。
19（木）●サリドマイド裁判で原告側が裁判長を忌避。
20（金）●日本プロレス解散（全日本プロレスに合流）。
21（土）●新潟水俣病で昭和電工が補償要求を全面受諾。
22（日）●名古屋市長選で社共推薦の本山政雄当選。太平洋ベルト地帯の大都市首長を革新系が独占。
23（月）●悪性関節リウマチなど一二疾患を難病に追加。
24（火）●順法闘争の首都圏二六駅で乗客が暴動。駅舎・電車を破壊し一三八人逮捕（翌日まで麻痺）。
25（水）●最高裁、公務員の争議禁止は合憲と判示。
26（木）●三大都市圏市街化区域内農地に宅地並み課税。
27（金）●春闘史上初の交通ゼネスト実施。
28（土）●厚生省、人工甘味料サッカリンの使用を全面禁止（12月18日、条件つき許可に変更）。
29（日）●火葬の遺体から手術用鉗子が発見され、一二日前に手術した町田市立中央病院を捜査。
30（月）●米ウォーターゲート事件で、クラインディースト司法長官と大統領補佐官らが辞任。

証言・あの日この日
大佛次郎（75）

1月7日（日）〈……派出二人、何もせず汁を作りても口をつけただけ置く代もの。次第に怖ろしき世となるらし。良縁の若夫人にして料理の出来ぬ人多からん。フランス（パリ）の如く外食時代来るらし。セーヴルにて招かれし家の如く、我が家の女中の手料理をほこり、呼び出して客に紹介せるが如き美習、いつになりて日本にも、その好きことに気がつくや。おそらくその無きまゝに、外食、（中流）一般の事となるべし。それには鍵の生活の定着を前提とするなり〉（大佛次郎『病床日記』）

死を目前に控える大佛は、築地のがんセンターを一時退院し、自宅で正月をすごす。彼を驚かせたのは、家政婦の料理のひどさだ。ジャーナリスティックな感覚の優れていた彼は、アパート、マンション生活の増加とともに人々の外食化が進むことを予言する。（坪内祐三）

WWP

▲米、「スカイラブ1号」を打ち上げ（5月14日）人間が長期間宇宙に滞在し、さまざまな実験や観測を行う計画の核となる宇宙ステーション。宇宙開発が新しい段階に入った。

▼新関門トンネル貫通（5月1日）起工から3年2ヵ月ぶり。全長約19キロは鉄道トンネルで世界第2位の長さ。山陽新幹線・岡山―博多間の最大の難関を突破、翌々年の開業にのぞむ。

毎日新聞社

▶東京ゴミ戦争（5月22日）「杉並区の住民が地元への清掃工場建設に反対するのはエゴ」として、江東区が杉並区のゴミを実力阻止。写真は収集車を止めて出発地を確かめる江東区議。

共同通信社

◀エルズバーグ裁判、公訴棄却（5月11日）ベトナム戦争に関する米国防総省秘密文書漏洩を問われていたが、ロス連邦地裁は精神分析カルテの窃取、盗聴など政府の違法行為を理由に裁判無効を宣言。写真は喜ぶ博士夫妻。

WWP

▼「ソプラノの女王」マリア・カラス来日（5月15日）長崎で10日から開催される、マダム・バタフライ世界コンクールの特別ゲスト。羽田に降り立った49歳の歌姫に取材陣が殺到した。

共同通信社

昭和48年5月

1（火）●高額所得者公示。一〇〇人中九四人土地成金。
2（水）●文相、学校週五日制の検討を事務当局に指示。
3（木）●本土復帰記念沖縄特別国体、開幕（～6日）。
4（金）●三越、パリのオペラ座前に新店舗開店。
5（土）●減反三年目で農村の荒廃進む、と新聞に。
6（日）●ハイセイコー、NHK杯に勝ち一〇連勝達成。
7（月）●「ワシントン・ポスト」紙の二記者、ウォーターゲート事件報道でピュリッツァー賞受賞。
8（火）●水俣病患者らがチッソ本社での座りこみ中止。
9（水）●環境庁長官、水俣病多発地区を初めて視察。
10（木）●広島で米から返還の原爆被災資料を公開。
11（金）●講談協会、ポルノ講談をめぐり分裂。反対派は講談組合、支持派は日本講談協会を結成。
12（土）●野菜高騰、キャベツ一個四〇〇円、と新聞に。
13（日）●共産党委員長・宮本顕治、熊本空港で襲われる。
14（月）●投資先としての絵画ブーム去り暴落と新聞に。
15（火）●川崎市に初の自転車専用レーン設置。
16（水）●日豪など一六ヵ国が国連世界保健機関（WHO）総会に初めて核実験禁止決議案を提出。
17（木）●国連食糧農業機関（FAO）、西アフリカの大干ばつで一〇〇〇万人が餓死の危機と発表。
18（金）●航空宇宙技研、国産初のターボファン・ジェットエンジン試作機の運転に成功と発表。
19（土）●「少年マガジン」の「あしたのジョー」完結。
20（日）●営林署の除草剤でシャクナゲが枯死と新聞に。
21（月）●山口百恵、「としごろ」でデビュー。
22（火）●有明海で第三水俣病と熊本大研究班が報告。●東京・江東区の住民、区議ら先頭に、新夢の島への杉並区のゴミ搬入を実力で阻止。
23（水）●東芝、全回路にLSIを使用したマイクロコンピュータを年末に発売と発表。
24（木）●国立教育研究所、一六ヵ国の「国際理科テスト」で小・中学生とも日本が一位と発表。
25（金）●中日スタジアム倒産。
26（土）●増原防衛庁長官、天皇の防衛関連発言を披露（29日、政治的に利用と批判あび辞任）。
27（日）●日本ダービーでタケホープが優勝。一番人気のハイセイコーは三着となり、連勝中断。
28（月）●津川雅彦と朝丘雪路、挙式。
29（火）●日本の対外純資産は一三八億六七〇〇万ドルで米・西独に次ぎ世界三位と大蔵省発表。
30（水）●輪島、学生相撲出身で初めて横綱に昇進。
31（木）●西之島沖で海底噴火確認（9月新島出現。12月西之島新島と命名）。

20世紀博物館 東京都水の科学館 東京・江東区

水の性質・パワーを科学する"遊び"装置の数々

桑原茂夫

◀上側の輪を持ち上げることによって、体の周囲にシャボン玉と同じ膜面ができる。
乙咩雅一

近未来都市空間として、何かと話題の多い東京の臨海副都心に「東京都水の科学館」がある。まだオープンしたばかり（平成九年五月）だが、人気は上々で、年間目標四万人（谷田川館長の話）は、ゆうゆう突破しそうな勢い。

それにしても、海を埋め立てて作った人工の臨海副都心に"水の科学館"があるというのは、ちょっと皮肉な感じもしたが、実は皮肉でも不思議でもなかった。そもそもこの臨海副都心は、就業人口一〇万人を想定して建設されてきた巨大人工都市で、大量の水を必要とする。そこで新たに給水所が建設され、この給水所に付属する形で"水の科学館"が誕生したというわけなのだ。

だから、ここには給水所施設の見学コースもある。名づけて"アクアツアー"。コンパニオンの案内で地下に降り、臨海副都心全体にむだなく水を送りこむ、最新設備の一端をのぞくことになる。

▼臨海副都心の中にある「東京都水の科学館」。まだ周辺には空き地が多い。

◀水の持つ鏡のような性質は、グラスファイバーと同じように、直進するレーザー光線を中で反射させ、水の流れの中に封じこめてしまうことができる。

昭和四八年の石油ショックは、現代人の生活が、意外と脆（もろ）い基盤の上に成り立っていることを教えてくれた。しかし、どんな基盤であろうとも、水だけはしっかり確保されなければならない。近未来のモデル都市としての役割を担う臨海副都心といえども例外ではないのだ。

と、真面目に給水所を見た後で、階上の展示スペースに入ると、ここでは、水の性質を利用した遊びや、限りなく遊びに近い実験装置を楽しむことができる。

たとえば、体の中の水分量を知る遊びがある。おとなの男性で体の約六〇%が水と言われてはいるものの、実感がない。ところがここでは、体重計に乗って、後はクイズ式に大小のポリタンクを運んで並べれば、自分の水分量を手と目で知ることができる。実際にその量を知ると、試みた人もそれを見ている人も、その多さに一様に驚きの表情を浮かべる。

日常生活でどれくらい水を使うか知るコーナーもあって、ここではずらりと並んだ二リットル入りのペットボトルが、その量を教えてくれる。トイレ一回で七本。風呂に入ると一一七本を使う。実に具体的でわかりやすい。

さらに水の性質を知る装置はいろいろあって、体がすっぽり入るような大きなシャボン玉製造装置や、直進するレーザー光線を水に閉じこめてしまう実験装置等々。こんなのもあった。水が外界の振動を吸収する性質を示す実験装置だ。ここではビルの簡単なミニチュアで見せてくれるが、実際に屋上に水槽をセットしているビルもあるそうだ。それによって、地震などの揺れを早く吸収し、おさえる効果が得られるという。また、水の強い噴射による"カッター効果"にも驚かされる。スチール缶の印刷を、噴射する水で削り取ってしまうのである。

激流下りのシミュレーションコーナーもあって、博覧会会場のような大人気。ここでもスリルを楽しみながら水の底知れぬパワーを実感することになる。

まことに、地球は水の惑星であり、人は水とともにあることを、じわじわと感じさせてくれる"水"のミュージアムなのである。

▲自分の体に含まれる水の量を大小のポリタンクを使って、自分で計量する。

●東京都水の科学館
江東区有明三―一四―一
☎〇三―三五二八―二三六六
ゆりかもめ国際展示場正門駅下車、徒歩八分
開館時間＝九時半～一七時（入館は一六時半まで）
休館日＝月曜日、年末年始
入館料＝無料

朝日新聞社

▲マイルス・デイビス公演（6月19日）モダンジャズの王者による七重奏団。札幌公演の後、東京厚生年金会館で47歳とは思えない新鮮なリズム感覚を披露。

◀「ノーカーデー」実施（6月5日）初の環境週間がスタート。政府も警備上の理由で車を使った田中首相以外は全閣僚が電車や徒歩で通勤。写真は姫路市の出光精油所近くの出勤風景。

朝日新聞社

毎日新聞社

▶ソ連共産党書記長・ブレジネフ、米国訪問（6月16日）「私的」を強調したが、18日からニクソン大統領と「核不戦の誓い」を交わすなど精力的。写真はアンドリュー空軍基地に到着した書記長（右端）。

◀高野山に籠城（6月1日）大阪府貝塚市の帯谷織布が残業時間延長。これを労組が認めたため女子工員が新労組を結成、105人が高野山宿坊に籠もった。5日、全織同盟の仲立ちで妥結、下山した。

▶佐渡島の朱鷺、15羽に（6月13日）写真は順調な成育が確認された巣立ち前の生後40日前後のひな。これで15羽になったが、後に漸減。人工繁殖に踏み切ったが失敗し、平成9年5月現在で1羽のみ生存。

WWP

昭和48年6月

1（金）●前年税収は予算の七％増で空前の黒字と判明。
2（土）●OPEC（石油輸出国機構）と国際石油資本、原油価格一一・九％値上げで合意。
3（日）●八代英太、ショー司会中に転落。半身不随に。
4（月）●フォーク・デュオ「トワ・エ・モア」解散。
5（火）●初の環境週間始まる。
6（水）●富士市で田子の浦港からのヘドロ輸送パイプ破裂。三〇〇㌧が民家四〇戸に流入。
7（木）●神戸製鋼所、古タイヤから重油・ガスなどを回収する技術を開発と発表。
8（金）●欧米製大型冷蔵庫の輸入が急増、と新聞に。
9（土）●ピカソの版画が「猥褻」で輸入禁止と新聞に。●徳山湾の二漁協、徳山曹達を水銀汚染の発生源として漁船一二〇隻で専用港を封鎖。
10（日）●東京の上野―新橋間五・五㌔が歩行者天国に。
11（月）●東京・新宿で国士舘高校生が朝鮮学校生に集団暴行（12日国士舘大学生も。14日総長謝罪）。
12（火）●ジャスコ、PCB汚染水域魚介の取扱い中止。
13（水）●東京地検、殖産住宅の東郷民安を脱税で逮捕。
14（木）●東京でパルコ渋谷店が開店。
15（金）●新潟―ハバロフスクの日ソ局地間空路開設。
16（土）●べ平連、経団連に公害垂れ流し糾弾デモ。
17（日）●国鉄、名古屋の新幹線騒音公害被害者に医療費負担決め、申請受け付けを開始。
18（月）●有明・不知火海沿岸四県漁協が七〇〇隻でデモなど、各地で漁民が公害工場へ抗議行動。
19（火）●日常的にジーンズ着用は都民の一割と新聞に。
20（水）●競馬・競輪の入場者ふえ映画は減少と国税庁。
21（木）●新潟水俣病の昭和電工、患者側に全面謝罪。
22（金）●訪米したソ連ブレジネフ書記長とニクソン大統領、核戦争防止協定に調印。
23（土）●杉並清掃工場反対派、都の基本計画案を拒否。
24（日）●厚生省、水銀汚染魚介類の摂取許容量を発表。小アジは週一二匹、マグロ刺身は四七切れ。●田口信教、サンタクララ水泳大会の一〇〇㍍平泳ぎで一位となるも泳法違反で失格。
25（月）●東京都、休日診療のため都医師会と契約。
26（火）●農家所得が初めて勤労者所得上回ると農林省。
27（水）●米、初の穀物輸出規制で大豆輸出を停止。
28（木）●国際捕鯨委、南氷洋のナガスクジラ漁を三年以内に禁止すると決定。
29（金）●通産省、美浜一号原子炉は欠陥炉と言明。
30（土）●米の公定歩合は史上最高水準に。日本も追随し、各国がインフレ対策に必死、と新聞に。

ベストセラー
“不安”を前面に押し出して『日本沈没』三五〇万部突破！

この年、小松左京の書下ろし長編ＳＦ『日本沈没』（光文社）が、上・下巻合わせて三五〇万部を突破するという大ベストセラーになった。地殻の大変動で日本列島が沈んでしまうというショッキングなテーマの近未来小説だったが、そこに記されている変動が、現実に起こりつつある地震や海底火山の噴火などと、リアルタイムで重なったため、とても絵空事とは思えなかったところに、超ベストセラーになる要因があった。

しかも地球物理学の最前線の理論を紹介して、一般にはなじみの薄かった分野への入門書としての役割もはたした。

揺れていたのは地球だけではない。経済の急成長にもかかわらず、石油ショックの形で具体的に現れた、生活基盤の意外な脆さや、公害で顕著になった経済成長のマイナス面などによって引き起こされた不安で、人々の心も揺れていた。

筑摩書房から六月に創刊された隔月刊誌「終末から」は、まさにそのような不安にこたえるものだった。創刊号の特集が「破滅学入門」で、野坂昭如が中心になって、日本列島の破滅に向かう実態をレポートした。

一方、こうした不安をやわらげようとするかのように、「狐狸庵」の異名を持つ遠藤周作が“ぐうたら”の名をつけたユーモアエッセイを次々に放ち、これがことごとく売れた。夕刊紙に連載したものをまとめた『ぐうたら人間学』もそのひとつ。連載時のタイトルは“狐狸庵閑話”で、得意の下ネタから始まって、酒癖の悪い人の話や、誇大妄想の人の話など、まさに抱腹絶倒、どこまでがホントかどうかわからないという、作者特有のユーモアが冴えわたった。

●昭和48年のベストセラー

順位	書名（著者／出版社）
1位	『日本沈没（上・下）』（小松左京／光文社）
2位	『人間革命（8）』（池田大作／聖教新聞社）
3位	『怪物商法』（糸山英太郎／ＫＫベストセラーズ）
4位	『ぐうたら人間学』（遠藤周作／講談社）
5位	『にんにく健康法』（渡辺正／光文社）
6位	『ぐうたら愛情学』（遠藤周作／講談社）
7位	『ぐうたら交友録』（遠藤周作／講談社）
8位	『国盗り物語（前・後）』（司馬遼太郎／新潮社）
9位	『どんと来い税務署』（吉田敏幸／ＫＫベストセラーズ）
10位	『太陽への挑戦』（糸山英太郎／双葉社）

全国出版協会出版科学研究所

▲『日本沈没』（光文社、上下各430円）

▲『ぐうたら人間学』（講談社、290円）

▲「終末から」（筑摩書房、380円）

スターと名場面
主演・菅原文太でシリーズ化「仁義なき戦い」のリアリティ

この年の超ベストセラー『日本沈没』が映画化（森谷司郎監督）され、列島崩壊の特殊撮影で話題を呼んだ。物理学者の竹内均氏も出演、地殻活動を解説するなどしてリアリティを持たせた。

リアリティというと、東映が「仁義なき戦い」（深作欣二監督）で、実録もの路線を打ち出した。ヤクザ組織の血なまぐさい抗争をリアルな画面で描き出したもの。主演・菅原文太でシリーズ化した。

また山本薩夫監督の大長編「戦争と人間」（原作・五味川純平）がこの年、完結編を公開。足かけ四年にわたる力作で、財閥と軍と、それに抵抗する若者たち（北大路欣也や山本圭、吉永小百合らが演じた）を活写する映画だった。

“木枯し紋次郎”ブームのパロディともいえる傑作「股旅」もこの年の作品。市川崑監督が脚本に詩人・谷川俊太郎を迎えて撮った。渡世人のなまなましい実態を、小倉一郎、尾藤イサオ、萩原健一の絶妙のトリオが演じた。

この年はほかに次のような映画が公開されている。かっこ内はおもな出演者。

「四畳半襖の裏張り」（宮下順子）「恍惚の人」（森繁久弥）「スケアクロウ」（ジーン・ハックマン、アル・パチーノ）「ポセイドン・アドベンチャー」（ジーン・ハックマン）「ジャッカルの日」（エドワード・フォックス）

東宝提供

▲「股旅」で、渡世人姿の若者トリオ（左から小倉一郎、尾藤イサオ、萩原健一）。

▶「戦争と人間」完結編では、戦争に疑問を抱く若者（山本圭）も前線に送られ、厳しい現実に直面した。

日活提供

▼大地は割れ、海は熱でたぎる。「日本沈没」のクライマックスシーン。

東宝提供

モノ語り'73
「ごきぶりホイホイ」「押すだけ」「シュガーカット」使い勝手のよさとネーミングで大ヒット！

◀**毛筆革命が起こった**　硯で墨をする必要もなく、簡単に使える毛筆を作ろうと数年前から開発に取り組んでいた呉竹精昇堂がこの年、製品化に成功、発売したのが「くれ竹筆ぺん」。プラスチックの芯にねじりを与えることで、押さえると太く書けるペン先を作ることができた。1本200円、10万本の限定販売でスタートしたが、その反響は大きく、翌年には400万本の生産体制を構築したほど。

▼**ゴキブリ退治のアイディア商品**　それまでにもゴキブリを箱に追いこんで出られないようにする捕獲装置はあったが、はえ取りのようにしっかり捕まえて装置そのものを“使い捨て”にしたのは、アース製薬の「ごきぶりホイホイ」が初めて。その使い勝手のよさと卓抜したネーミングが評判を呼び、ヒット商品になった。この頃はチューブで粘着剤を塗るタイプだったが、生産が追いつかないほど売れた。1セット5枚で500円。

▲**シンセサイザーに手が届くようになった**　輸入品しか市場になく、最低でも100万円近い価格だった時代に、16万5000円という手頃な国産シンセサイザー「SH-1000」がローランドから発売された。自由に音色を作ることができるコントロール機能とともに、ボタンひとつでさまざまな音色を選べる使いやすさも備えていた。

▲**スポーツ車が手に入りやすくなった**　ブリヂストンサイクル工業（現・ブリヂストンサイクル）が発売したスポーツ車「ロードマンR-4」は、走行機能にだけポイントをしぼった、シンプルなデザインの本格派。ハンドルもこれまで一般車にはなかった、プロ並みのドロップハンドルで、これが人気の要因ともなった。しかも全体はあくまでもベーシックモデルで、このままでもよいが、好みのパーツにつけ替えることもできた。3万8500円。

◀**新しい盤上遊戯の登場**　将棋や囲碁など、古い歴史を持つ盤上遊戯の世界に、スピーディーでスマートな、いかにも現代的なオリジナルゲーム“オセロ”が前年に登場、この年爆発的なブームとなった。製薬会社につとめるサラリーマンが発明したこのゲームを、ツクダオリジナルが商品化して発売。この「オフィシャルオセロ」は、この年1450万台という驚異的なヒット商品となった。現在なおコンスタントな売れ行きを示している。2200円。

◀**持たないでお湯が注げる！**　象印マホービンが開発したエアーポット「押すだけ」は、重い魔法瓶を持ち上げずにお湯を注げるという画期的な商品だった。そのネーミングは、新開発の機能をストレートに表現すべきだとする当時の社長の主張によるもの。「押すだけ」という表現が流行語にもなったほどで、年間160万本のヒットとなった。2.2リットル入り4800円。

◀**砂糖よりも甘いのに低カロリー**　浅田飴のもととなっている還元麦芽糖水飴の研究から生まれた「シュガーカット」が堀内伊太郎商店（現・浅田飴）から発売されロングセラー商品に。低カロリーなので、ダイエットに、また糖尿病食の調味料としても活用された。現在も特殊栄養食品と認められ販売されている。500グラム入り800円。

人物クローズアップ

瀬戸内寂聴（五一）

「仏縁は御仏の手でひそかに」と代表的女流作家が、突然の出家

昭和四八年一一月一四日、岩手県平泉町の中尊寺で、作家・瀬戸内晴美の得度式が行われ、寂聴の法名が授けられた。戒師は、中尊寺の貫主である今春聴（作家・今東光）大僧正がつとめるはずだったが、病気のため、代わって東京上野・輪王寺の貫主、杉谷義周大僧正によって行われた。この時、瀬戸内は五一歳。

瀬戸内寂聴は、大正一一年五月一五日、徳島市塀裏町生まれ。小さい頃から頭のいい子だった。小学校に上がると、片っ端から本を読み始めた。女学生の姉が買ってくる世界文学全集や、日本文学全集は手当たり次第に読んだ。小学校三年の時には、小説家になろうと思っていた。

昭和一五年、徳島高等女学校から東京女子大学国語専攻部入学。大学では図書館にいりびたって、『源氏物語』や井原西鶴のものばかり読んでいた。一八年、在学中に結婚。卒業して中国に渡り、一女を産む。敗戦によって、夫の任地であった中国の北京から引揚げてきたのは、二一年の夏の盛りだった。

夫のかつての教え子と恋に落ちる。夫と子を捨てて出奔。恋に走った彼女が、小説家として生きていこうと心に決めたのは、その時だった。二五歳のことである。

彼女の名が文壇に登場したのは、三一年一二月に、第三回新潮同人雑誌賞を受賞した「女子大生・曲愛玲」が最初である。小説家・小田仁二郎にめぐり合い、その影響を受けて一気に才能を開花させた。彼女は「彼に励まされ、私は私の内部に眠っていたさまざまな可能性を少しずつ光の中にひきずりだすようになっていった」（「妻の座なき妻との訣別」「婦人公論」昭和三七年三月号）と書いている。次々に作品が生み出され、三六年に『田村俊子』で第一回田村俊子賞受賞、三八年『夏の終り』で第二回女流文学賞を受賞し、作家としての地位を確立した。その後も『かの子撩乱』『女徳』『美は乱調にあり』『諧調は偽りなり』などで、強烈な個性を持つ女性を描き続けた。

日本の代表的女流作家が、突然仏門に入ったというニュースは驚きだった。なぜ出家したのか。

彼女は「出家の動機など、これこれですと誰が示せるだろう。私の生きて来た五十年の歳月のすべてに、出家の動機の仏縁は御仏の手でひそかに結びつけられていたのであろう」（『晴美と寂聴のすべて』集英社文庫）と書いている。そして、「得度して以来、私は二十も若がえったような感じがする。五十年の垢と疲労のすべてが洗い流され、細胞がすべて瑞々しくよみがえり、精神的活力があふれるように思う」とも。

翌四九年、彼女は京都・嵯峨野に寂庵を結び、六〇年から毎月、無料で法話と写経・座禅を行っている。六二年には、岩手県浄法寺町にある天台寺の住職に、また昭和六二年から平成四年までは敦賀女子短大の学長をつとめた。そして今、彼女は『源氏物語』の現代語訳を刊行中。出家してから、『源氏物語』がよりよく理解できるようになったという。

▲11月14日、岩手県平泉町の中尊寺で得度式にのぞむ瀬戸内晴美（写真中央）。　勝山泰佑

▲黒髪をおろしてさっぱりした姿に。法名は中尊寺貫主の今東光大僧正の法名の一字を授けられて「寂聴」。その後も旺盛な創作活動は衰えていない。　勝山泰佑

決定的瞬間

二時間後、彼は銃を右顎に！ チリ・アジェンデ大統領の生前最後の姿を写した一枚

詩人パブロ・ネルーダが「海とぶどう酒と雪の細長い花びら」と歌ったチリに、一九七〇年、左翼陣営の希望の星サルバドール・アジェンデが大統領として登場した。しかし、彼の政権はわずか二年一〇ヵ月でその幕を閉じる。

キーストンから世界に配信されたこの写真（一九七三年九月一一日午後一時頃撮影）は、生前の彼の姿を写した最後のものである。六五歳の大統領は右手に銃を持ち、キューバのカストロ首相よりプレゼントされたというヘルメットをかぶっている。緊張した護衛と、遠く空を見上げている大統領。空軍のジェット機がモネダ宮（大統領官邸）を爆撃するため低空飛行を行っているからだ。

アジェンデ大統領は、チリ大学の医学生時代から社会主義に目覚め、一九三三年の社会党創立に参加。下院、上院など長い議員生活を送り、大統領選挙には四度挑戦している。彼の政策は低所得者の生活水準を引き上げ、米国資本に握られている銅や鉱物資源の国有化、地主に集中している農地を農民に再配分するというものだ。

医者でもあるアジェンデ大統領は、民衆と気楽に語り合える政治家であった。家の中に入り、ホームドクターのように悩みを聞き、庭の薬草を煎じたり、町の老人とチェスの試合をしたりしていた。

一般国民の人気は高かったが、米国の経済封鎖、右派軍部の台頭、資本家の抵抗などに包囲され、むずかしい局面に立たされる。しかし、就任二年目の総選挙では彼を支持する陣営が勝利する。三年目に入ると、右派の資本家ストとこれに反発する左派の労働者のストが錯綜。この混乱に乗じて、アウグスト・ピノチェト将軍（五七）を中心とする軍事評議会のクーデターが決行されたのである。

写真の姿から二時間後、宮殿は包囲されクーデター部隊の突入を待つばかりになった。降伏を求める軍部に対してアジェンデ大統領は最後まで、抵抗する道を選ぶ。大統領につき従っていたギボン医師の証言（『チリ 嵐にざわめく民衆の木よ』大月書店）によると、最後まで大統領と行動をともにしていた人々も、軍に降伏するため宮殿の廊下を歩いて外に出ていった。大統領は出ていく人々と握手を交わし、人の流れとは反対方向に歩いて室内に入る。ギボン医師がドアに近づいた時、銃声がした。大統領が銃を右顎にあてて引き金を引いたのだ。椅子に座っていたがヘルメットはずれ、額から上の頭蓋骨が吹き飛んでいた。

アジェンデの死後、チリは恐怖のどん底に落ちる。親アジェンデ派、共産主義者、社会主義者は根こそぎ逮捕され、拷問と処刑が国をおおいつくした。

首都サンティアゴ郊外の、処刑された無名の人の墓群には、「許すまい。忘れまい」と書かれた紙が貼りつけられた。街の貧民街では、今もたんに「大統領」と言うと、サルバドール・アジェンデを意味する。アジェンデの名は、以後一六年間続いた軍事独裁政権の中でも、忘れ去られることはなかったのである。

▲サルバドール・アジェンデは1908年、サンティアゴ市生まれ。運命の1973年9月11日、反乱軍は2度にわたる降伏勧告の後、攻撃を開始する。大統領は、夫人と娘たちを脱出させた後、みずからの命を絶った。 キーストン

美の出会い

入退院を繰り返す中で完成 いわさきちひろ渾身の作品『戦火のなかの子どもたち』

▶『戦火のなかの子どもたち』より、「シクラメンの花の中の子どもたち」。

昭和四八年、童画家のいわさきちひろ（五四）は、絵本『戦火のなかの子どもたち』の完成を急いでいた。ほとんど毎日のように報道されるベトナム戦争のニュースに心を痛めていたちひろは、とりわけベトナムの子どもたちのことが気がかりだった。ちひろ自身、昭和二〇年五月に東京・中野で空襲にあい逃げまどった経験があるため、戦火の中で子どもたちがどんな悲惨な状況におかれているか、身に沁みて知っていたのである。ちひろは一日も早く平和が訪れることを願って描き続け、この年の九月一〇日、同書は岩崎書店から刊行された。

ちひろの一人息子で、現在、「安曇野ちひろ美術館」の館長をしている松本猛氏は、この頃のちひろについて語ってくれた。

「母は自分で企画した絵本作りができるようになり、精神的には充実して仕事に向かっていたようです」。しかし、その一方でちひろは十二指腸潰瘍にかかり入退院を繰り返していたのだった。

「夫の母と病身だった自分の母を家に迎え入れ、夫の多忙も重なり、母は神経を使うことが多かったのでしょう」

と松本氏。

二年前の昭和四六年に描いた絵本『ことりのくるひ』（至光社）が、この年のボローニャ国際児童図書展でグラフィック賞を受賞。その知らせを受けたのも、病院のベッドの中でだった。こうした日々の中で『戦火のなかの子どもたち』は制作されたのである。

この時すでに病魔は進行していた。翌四九年八月八日、ちひろは癌により死去。

松本氏によれば、生前にちひろは一万点を超す作品を描いたそうである。見るものを温かく包みこんでくれるちひろの絵本は、幼児からおとなにいたるまで、幅広い層の人気を集めている。しかし、つつましやかな愛情にあふれた絵の陰には、多くの修羅場が隠されているようだ。

「ちひろさんの、あの可愛らしい絵は、実は、たくさんの悲しみ苦しみ、修羅場があったからこそ、ちひろさんが描かずにはいられなかった世界なのではないか」と「ちひろ美術館館長」の黒柳徹子は、『一八枚のポートレート』（新日本出版社）の中で記している。

▶一九七三年のボローニャ国際児童図書展でグラフィック賞を受賞した『ことりのくるひ』より。

ちひろは建築技師の父と教師をしていた母の間に生まれた。一四歳の時に東京美術学校教授の岡田三郎助に洋画を学び、画家になる夢を抱くが、両親の反対にあって断念。昭和一四年、二〇歳の時に結婚して満州（中国東北部）に渡るが、同年、夫が自殺し、結婚生活は不幸な結末を迎えた。

昭和二一年、「人民新聞」の記者となり記事を書きながら、新聞のカットや挿絵、また教科書や雑誌の絵を描き始める。そして昭和二四年、東京大学を出たばかりの若きコミュニスト・松本善明と知り合い、翌年結婚。東京・神田のブリキ店の二階で六畳一間の生活が始まり、長男・猛が生まれる。喜びも大きかったが苦悩も多い日々だった。

大きな転機は昭和三一年、福音館書店の松居直から声をかけられ、翌三二年『ひとりでできるよ』が出版されたことだった。一人ですべての絵を描く初めての仕事である。喜びと不安に震えながら小林純一の連作詩に、息子・猛への思いを重ねて全力で描いた。そして昭和三六年、『あいうえおのほん』（童心社）がサンケイ児童出版文化賞を受賞するにおよび、童画家としてのちひろの評価は揺るぎないものとなった。

しかしこれに飽きたらず、もっと自由に描きたいと思っていたちひろの前に、至光社の武市八十雄が現れ、「絵本でなければできないことをしましょう」ともちかけた。二人で練り上げたのは、絵が詩のように展開するまったく新しい絵本の試みである。こうしてできあがったのが『あめのひのおるすばん』。続いて年一冊のペースで『あかちゃんのくるひ』『となりにきたこ』『ことりのくるひ』など、〝ちひろワールド〟の代表作が次々と生み出されていった。

現在、ちひろの作品約八〇〇〇点は、東京・練馬の「ちひろ美術館」と長野の「安曇野ちひろ美術館」に収蔵され、公開されている。ここには、愛とやさしさを未来永劫に伝えたいと願ったちひろの想いが生き続けている。

▲いわさきちひろは大正7年12月15日、福井県武生市生まれ。東京府立第六高女卒。写真は昭和48年4月。

▲『戦火のなかの子どもたち』より。ベトナムの子どもたちの身のうえを案じつつ、ちひろは、病と闘いながら描きあげた。 ©ちひろ美術館（4点とも）

「現場」を歩く

新宿

リニューアルも始まっている超高層ビル群の四半世紀

山本徹美

▲現在の新宿駅西口遠望。今ここには、都庁舎をはじめ、10棟を数える超高層ビルがある。 但馬一憲

昭和四八年、東京・新宿駅西口にすでに完成している京王プラザホテルのほかに新宿住友ビル、KDD・国際通信センタービル、新宿三井ビルなど軒高一〇〇㍍以上、地上三〇階以上の「超高層ビル」が続々と建ち並び始めた。

ちょうどその頃上京した私は、このビル群を見て、「都会」を実感したのをおぼえている。東京の代名詞は〝ネオン〟から〝超高層ビル〟に変わったのだと思った。事実、このビル群にネオンサインはない。後にニューヨークへ行った際、摩天楼のネオンを眺めその遊び心に唸らされた。

新宿駅西口が「高く広く」を合い言葉に再開発されるきっかけとなったのは、昭和三五年三月、都議会での「新宿副都心建設に関する基本方針」議決による。駅を扇の要に見立てると、北は青梅街道、西は十二社通り、南を甲州街道で囲まれた計九六万平方㍍が対象とされた。まずその中心を占める淀橋浄水場（三四万平方㍍）を移転。その跡地は昭和四三年までに造成され一一街区に分割、都はそのうち約三分の二を業務施設用地として民間大手企業に売却した。

そのひとつが三井不動産。専務として指揮した坪井東氏（後に会長、平成八年七月没）は同社社内報に絶筆となった一文を寄せている。

「私はビルの外装にかなりこだわった。元来超高層ビルは都市の上空にそびえ立ちその偉容を誇示すべきものではない。（中略）ガラスはハーフミラーとし、空が青ければ青いビル、白ければ白いというように自然と調和を図り、あまり自己主張をしていない」

「どんな地震にも安全」

昭和四八年一〇月、わが国の経済は石油危機に襲われ建築資材が高騰した。三井不動産・営業課長の上野弘氏（五四）が当時を振り返る。

「新宿三井ビルはほぼ完成していたので、建築コストへの影響はさほどではなく、所期の目標『坪当たりの建築費四〇万円以下』を達成させたのです」

上野氏は宮城県沖地震（昭和五三年六月）を新宿三井ビル内で体験した。

「ゆっくり、ゆったりと揺れるんです。机の抽出しがスルスルと出て、しばらくするとおさまる。窓から京王プラザが傾いて見え、ビルが振り子のような運動をしているのだとわかった。以来、どんな地震もここにいる限り安全と信じています」

総工費二三七億八〇〇〇万円で竣工（昭和四九年一〇月）した新宿三井ビルだが、平成八年四月には総事業費二〇〇億円の見こみでリニューアル工事を着工。同社新宿オフィスの笹島輝哉課長（四四）が事情を説明する。

「予想以上にコンピュータによるOA化が進み、テナントの要望に対応しきれなくなったんです」

新装なるのは平成一三年。二一世紀もこのビル群は、わが国最先端技術と経済発展の象徴としてそびえ続けそうだ。

▲昭和48年8月撮影。京王プラザ、住友ビルなどが見える。 読売新聞社

時代はシリアスからナンセンスギャグへ「8時だョ!全員集合」視聴率50パーセントの秘密

▲「8時だョ！全員集合」のフィナーレ。左から、いかりや長介、加藤茶、荒井注、仲本工事、高木ブーの「ザ・ドリフターズ」の面々。

「『全員集合』、見た?」が子どもたちの間で挨拶のように使われていた。ヒットギャグは、翌日には日本中の子どもに広まった。ザ・ドリフターズの出演した「8時だョ!全員集合」はこうした子どもたちに支えられ、視聴率が五〇％を超える〝お化け番組〟となっていった。

入場応募はがきが殺到 競争率は一〇〇倍にも

会場内のライトが消え、それまで規則的なテンポを刻んでいたドラムが、突然「トン　トトトン　トトトン　トントトトットト　トトトット　トトトトン」と変則ビートに変わる。それだけで場内を埋めた観客たちには次に何が起こるかがわかっていた。口笛、歓声、どよめきが沸き上がる。舞台の袖に横たわった加藤茶（三〇）が観客側に向かってクワッと目をむき、衣装の裾をまくりながら、「ちょっとだけョ、あんたも好きねェ」。

客席からは大爆笑が沸き上がるのだった。「ちょっとだけョ」は昭和四八年の流行語となった。ほかにも「カラスの勝手でしょ」「ヒゲダンス」「東村山音頭」など次から次へ繰り出されるヒットギャグは、たちまち子どもたちに熱狂的に受け入れられ、これを知らないと子ども社会でのけ者にされるほどだった。

昭和四四年秋にスタート、毎週土曜日夜にTBS系で放送された「8時だョ！全員集合」は、スタート時こそ視聴率一三％だったが、同年暮れには二五％近くに乗せ、翌年から常に三〇％台というようにぐんぐんと視聴率を伸ばし、この年、

▲ルンバ「タブー」の曲がかかり、照明が暗くなる。やがて加藤茶が舞台に横たわり、裾に手をかけながら、「ちょっとだけョ、あんたも好きねェ」。観客は毎回同じシチュエーションで安心して笑えた。

◀「ザ・ドリフターズ」のリーダー、いかりや長介と、この頃人気絶頂のキャンディーズ。

昭和四八年四月七日放送分では、ついに視聴率五〇・五％に達した。

驚異的な視聴率をあげたこの超"お化け番組"「全員集合」は、いかりや長介（四二）がリーダーの「ザ・ドリフターズ」と、ゲスト歌手が登場する公開生放送番組だった。いかりやを先頭に、加藤、荒井注（四五）、仲本工事（三二）、高木ブー（三四）が、「北海盆唄」の替え歌に乗って登場するオープニングに続き、約二〇分のドリフのコント、ゲスト歌手の歌、そして後半と続くパターンの一時間番組だった（荒井注に代わり、志村けんが登場したのは昭和五〇年の秋）。

関東各地の公会堂などで行われる収録を見たさに、TBSには、毎週二万通の応募はがきが殺到した。会場はおおむね一五〇〇人から二〇〇〇人収容、一枚で家族五人が入場できたから、"倍率"は一〇〇倍にも達していたのである。TBSでは、はがきの整理要員として専任スタッフを置いたほどだった。

◀「8時だョ！全員集合」でも、強烈な個性で、コントの中心となった二人。左が志村けん、右が加藤茶。

「ところが、指定席でなかったため、少しでも前の方の席を取ろうと、朝も暗いうちから並び始めるんだ。暑くても、寒くても。熱気がものすごかった。だから我々はとても手抜きなんかできないな、と思って全力投球してましたよ」（荒井注）

金も時間もたっぷり計算しつくした設定

「ドリフのコントの基本的なコンセプトは権威をいかにしておちょくるか、でした。前半のコントでは、いかりやが母親、課長、隊長という役まわり、つまり権威でした。そして加藤ら四人は常にしいたげられている。そして知恵をしぼっては、いかりやに一矢報いようとするわけです。何度も失敗したあげくに、やっと目的を達して、『一、二、三、四、やったぜ、カトちゃん』ということになる。しかも、そこまでに周到な伏線を敷いておく。つまり、考え計算しつくしたシチュエーションギャグでした。だから金も時間も十分にかけていました。一本にたっぷり三週間はかけました。今では考えられない番組ですね」（スタート時からのプロデューサー・古谷昭綱氏）

後に出発したフジテレビ系の「オレたちひょうきん族」がタレントのキャラクターとアドリブに依存していたのに対し、「全員集合」は考え抜かれた設定という違いがあったというのである。

その一方で、「全員集合」は「食べ物を粗末にする」「言葉遣いが悪い」などとPTAなどの槍玉にあげられ、"ワースト番組"の代名詞ともなっていた。

「それは笑いに対する価値観の違いでした。たとえばシリアスなドラマで、食べ物が捨てられたり、ものが壊れたりしても、ものを粗末に扱ったとは言われないですからね。めちゃめちゃに言われたことは何度もあります。ギロチンで人形の首を切ってしまったことがあったんです。その時も、さっそく『朝日新聞』の社会面で『全員集合、またまた暴挙』と書かれました。しかしこの時は、フランスで死刑廃止が発表された直後だったんです。つまり、先進国で死刑を存続しているのは日本とアメリカくらいだぞ、という事情が背景にあったんです。『全員集合』のネタは、常にそうした社会的な背景のあるものを取り上げていました」（番組の生みの親と言われる居作昌果プロデューサー）

「今から思うと『全員集合』当時はテレビの黄金時代でしたね。唯一の王者でした。今も王者ですが、いくつかあるうちのひとつですからね」（古谷氏）

オイル・ショックのこの年は、時代感覚の転換点でもあった。子ども調査研究所所長の高山英男氏が言う。

「比喩的に言えば男の子文化の中に『あしたのジョー』から『がんばれ!! タブチくん』へというシフトが起こります。シリアスからナンセンスギャグへと言ってもよい。ここで、男の子も女の子も一時的に合流します。それが『全員集合』の五〇％という数字として現れたのでしょう。そして、翌年の少女漫画ブームに見られるように、このドリフブームは、一貫して子ども社会をリードしていた男の子文化の最後の絶頂期でした。これを契機に男の子文化は力を失い、反対に女の子文化が元気になっていきます。そのターニングポイントの象徴がドリフ人気でした」

▶「ザ・ドリフターズ」関係のグッズも売り出された。写真は「カトちゃん人形」。

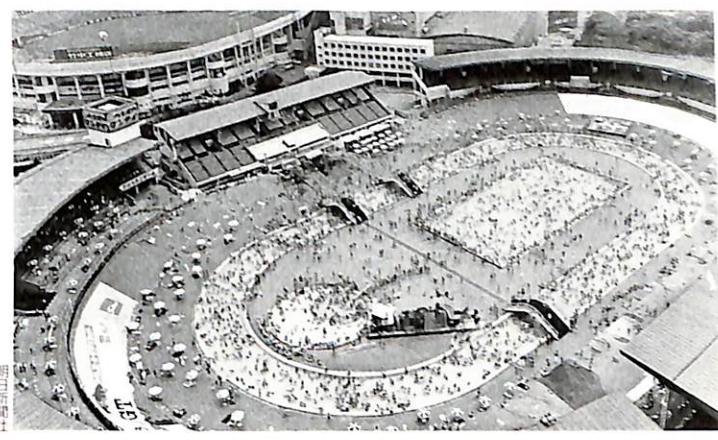
フォト＋日録で再現する365日

◀**団地わきに小型機が墜落(7月20日)**国際航空輸送会社機が航法訓練中、東京・高島平団地近くの道路に墜落、乗員二人が重傷を負った。燃料切れで不時着に失敗というおそまつ。付近には団地ビルが林立、大惨事になるところだった。

朝日新聞社

◀**「青嵐会」結成(7月17日)**渡辺美智雄、石原慎太郎ら自民党タカ派の31人は、「一命を賭す」と趣意書に血判を押して、野党との対決姿勢を強く打ち出した。前年12月の総選挙での共産党の躍進や、労働界の攻勢に危機感を強めたため。

毎日新聞社

朝日新聞社

▲**競輪場、プールに変身(7月15日)**美濃部東京都知事の公営ギャンブル廃止政策で、後楽園競輪場が24年間の歴史に幕を閉じた。跡地には競泳・円形・流水の3つのプールが作られ、この日2万人が初泳ぎを楽しんだ。

熊谷元一

▶**中国帰国子女の特別学級(7月)**前年の日中国交回復で、国の支援による中国残留者の帰国が再開された。長野県阿智村では昭和48年から58年まで、日本の生活を知らない子どもたちのための特別学級を設けた。

WWP

毎日新聞社

▶**魚屋さん怒る(7月4日)**東京で、水産物公害一掃全国総決起大会が開かれた。水銀やPCBによる魚介類の汚染が明らかになり、魚の売れ行きが激減していた。

◀**カンボジア、戦闘激化(7月31日)**カンプチア民族統一戦線が首都プノンペンを完全に包囲、ロン・ノル政権は苦境に立った。写真は装甲車に助け上げられる政府軍傷兵。

昭和48年7月

- 1(日)●岐阜県の「乗鞍スカイライン」が開通。
- 2(月)●都内の小・中学校で新型インフルエンザにょる学級閉鎖が一一三校と戦後最高を記録。
- 3(火)●東京都公害研究所、羽田空港周辺の窒素酸化物濃度は基準の四～五倍と発表。
- 4(水)●鮮魚商一万二〇〇〇人が公害一掃総決起大会。
- 5(木)●共産党、方針転換し中ソの核に反対を表明。
- 6(金)●「投機防止法」公布。買い占めなどを規制。
- 7(土)●徳山市の出光石油工場で爆発。八三時間炎上。
- 8(日)●南ベトナム臨時革命政府代表団が初来日。
- 9(月)●水俣病患者団体、チッソとの補償協定に調印。
- 10(火)●国鉄、新幹線試作車試験で時速二六〇キロ記録。
- 11(水)●公取委、当たりを乱発する森永乳業の乳飲料「マミー」のおまけ商法に排除命令。
- 12(木)●一八歳の中島常幸、全日本アマ選手権で優勝。
- 13(金)●尼崎市公害認定患者が全国一の三〇〇〇人に。
- 14(土)●沖縄水産高校の練習船が、レイテ島沖で八日遭難の漁船乗組員一一人を救助。
- 15(日)●後楽園競輪跡地でジャンボプールが営業開始。
- 16(月)●肺癌死が一万二〇〇〇人で結核抜くと新聞に。
- 17(火)●自民党タカ派議員三一人が「青嵐会」結成。
- 18(水)●水俣漁協の封鎖でチッソ水俣工場が操業停止。
- 19(木)●イタイイタイ病患者、三井金属と治療協定。
- 20(金)●日本赤軍の丸岡修含むアラブ・ゲリラ、日航機をハイジャック(24日、リビアで投降)。
  ●西武、世界最大の通販会社米シアーズ・ローバック社と提携し日本初のカタログ販売開始。
  ●カンフー映画のブルース・リー、香港で急死。
- 21(土)●仏、ムルロアで核実験強行(24日ペルー断交)。
- 22(日)●原糖不足で砂糖が一〇年ぶり高値、と新聞に。
- 23(月)●国労、動労に誹謗中傷禁止など共闘条件提示。
- 24(火)●村田機械、同社のファクシミリが電電公社の一般加入電話回線使用の認可を得たと発表。
- 25(水)●松本営林署、乗鞍岳でのキャンプを全面禁止。
- 26(木)●私鉄系不動産九社、建設省の要請受け、公的機関への住宅建設用土地放出決定。
- 27(金)●日航、ハイジャック防止に金属探知機と手荷物検査装置を羽田・大阪に設置すると発表。
- 28(土)●声優一八〇人が再放送使用料求め初のデモ。
- 29(日)●日本昆虫学会、昆虫の売買反対を決議。
- 30(月)●旭硝子千葉工場が、汚染魚一・五トンを一五〇万円で買い上げると船橋漁協に約束。
- 31(火)●中学生の理想の父親像は渥美清・いかりや長介との調査結果が新聞に。

証言・あの日この日
鎌田 慧(34)

1月24日(水) 〈四四〇台生産。七時半までコンベア回転。夜食休憩は一時半で終わるのだから、六時間ぶっ通しの労働だった。この態勢がこれから続くような気がする。／六時すぎると、もう体が利かなくなる。とても辛い。ジリジリ生産台数がふえる。現場はジリジリ押されたまま、いわれたとおり生産を上げる。昼眠れないので睡眠薬を使っている。これで一〇時から五時頃まで眠っているのだが、疲れは取れない〉(鎌田慧『自動車絶望工場』)

第2次高度成長を担った原動力に自動車産業がある。そのトップがトヨタ自工だった。前年、生産台数200万台を突破したトヨタの、この年の目標は230万台。だがそれを末端で支える現場の労働条件はチャップリンの映画「モダンタイムス」の比でない劣悪なものだった。しかもこの年から昼夜2交替制が始まった。 (坪内祐三)

PANA通信社

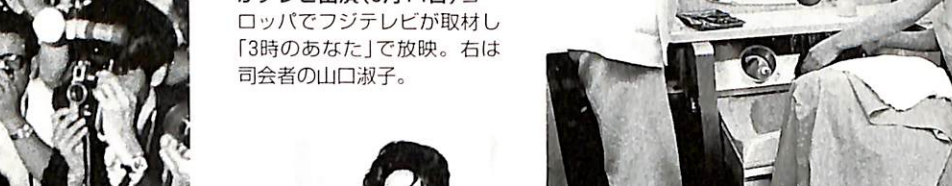
▲**日航機、ハイジャック(7月20日)**パリ発東京行きのジャンボ機がアラブ・ゲリラに乗っ取られた。リビアのベンガジ空港で人質解放後、犯人は機体を爆破して投降。

◀**新しい名前は「キヨスク」(8月1日)**鉄道弘済会は創立40周年を記念して、駅売店の愛称を「キヨスク」に決定。語源はトルコ語で、欧米では便利で小さな売店をさす。

▼**深刻、高松市の水不足(8月)**高松の7月の降水量は12ミリと例年の8パーセント。8月も猛暑続きで完全断水が続出し、理髪店では客がバケツで水を持参する事態も。

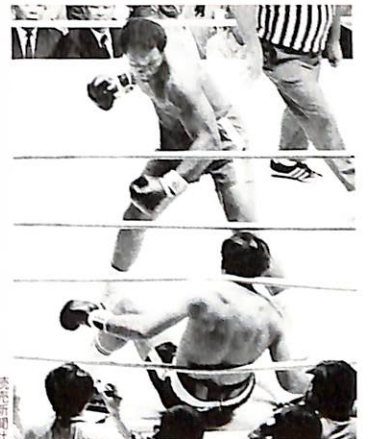
朝日新聞社

共同通信社

◀**吉永小百合(28)、挙式(8月3日)**フジプロダクション専務の岡田太郎さん(43)と結婚。新郎は「半分夫婦、半分恋人でいてほしい」と語った。

▼**元日本赤軍幹部・重信房子がテレビ出演(8月14日)**ヨーロッパでフジテレビが取材し「3時のあなた」で放映。右は司会者の山口淑子。

大鷹淑子提供

昭和48年8月

- 1(水)●鉄道弘済会、駅売店を「キヨスク」と改称。
- 2(木)●中国で批林批孔運動開始(林彪・周恩来を批判。24日鄧小平ら復権)。
- 3(金)●吉永小百合と岡田太郎、挙式。
  ●野村克也、通算最多安打二三五二本を記録。
- 4(土)●九州学院一年の山下泰裕、柔道で高校日本一。
- 5(日)●「公害を告発する高砂市民の会」結成。初めて「入浜権」を提唱。
- 6(月)●山田広島市長、平和祈念式で核実験をやめない米仏中ソを初めて名ざしで非難。
- 7(火)●水俣漁協をのぞく不知火海沿岸三〇漁協、補償額を不満としチッソ水俣本部を封鎖。
- 8(水)●金大中、東京のホテルから拉致される。
- 9(木)●手塚治虫の「虫プロ」の手形が不渡りと判明。
- 10(金)●王貞治、一二年連続三〇本塁打を達成。
- 11(土)●石牟礼道子、マグサイサイ賞受賞と決定。
- 12(日)●国連、多国籍企業上位一〇社の生産高が中小八〇カ国のGNP合計を上回ると報告。
- 13(月)●長良川で河口堰建設反対の水上デモ。
- 14(火)●山口淑子、フジテレビ「3時のあなた」で日本赤軍の重信房子にインタビュー。
- 15(水)●秋川市で拒食症の少女が自殺。
- 16(木)●藤井寺球場周辺住民がナイター照明禁止提訴。
  ●夏の甲子園で作新学院の江川卓、銚子商に延長一二回押し出しで敗退。
- 17(金)●自治省などが自転車通勤構想に関する懇談会。
- 18(土)●ラジオのDJ深夜番組が若者に定着と新聞に。
- 19(日)●酷暑で琵琶湖の水位が五四センチ低下。
- 20(月)●都水道局、大口使用者に二〇パーセント給水制限開始。
- 21(火)●クーラーが東京で三・五軒に一台と新聞に(22日、東京の酷暑日が連続一七日の新記録)。
- 22(水)●通産省、節電型家電製品開発を業界に要請。
- 23(木)●関西テレビ、唐十郎演出「汚れた天使」を「常識を超える」と放送中止。
- 24(金)●韓国、「金大中事件に韓国情報機関介入」の記事取り消し拒否の読売新聞ソウル支局を閉鎖。
- 25(土)●農林省、過剰生産のミカンを給食にと決定。
- 26(日)●調布市の市長・市議ら七三人、排ガスと騒音に抗議し中央高速調布インターを実力封鎖。
- 27(月)●愛媛県の伊方原発反対住民、建設中止を提訴。
- 28(火)●農作物の干ばつ被害六七五億円と農林省発表。
- 29(水)●公取委、化粧品などの再販制廃止を決定。
- 30(木)●露骨な性表現忌避が七割と総理府世論調査。
- 31(金)●国鉄、中央線の婦人子ども専用車を廃止。

▲フォアマン(24)、初防衛(9月1日)東京・九段の日本武道館で、日本初のプロボクシング世界ヘビー級タイトルマッチ。フォアマンは挑戦者のローマンを、わずか1回2分でマットに沈めた。

読売新聞社

▲青函豪雨(9月24日)北海道南部と青森県北部を一昼夜に300ミリの集中豪雨が襲い、死者・行方不明者23人の被害が出た。写真は山崩れで170戸が全半壊した北海道・渡島支庁知内町。

朝日新聞社

▶「四畳半襖の下張」初公判(9月10日)伝・永井荷風作の小説を雑誌「面白半分」に掲載し、編集長の野坂昭如らが猥褻容疑で起訴された。写真は出廷する野坂。

朝日新聞社

▼契約キャベツ第1陣(9月4日)野菜の価格安定のため、東京都と群馬県嬬恋村が「安定供給契約」を結んだもの。卸値は前日の半値となり、翌日、店頭では1個55~65円で販売された。

朝日新聞社

◀初の自衛隊違憲判決(9月7日)北海道長沼町に建設中の自衛隊ミサイル基地をめぐり、反対住民が起こした訴訟で、札幌地裁の福島裁判長(写真)が、初めて違憲判断を示した。

朝日新聞社

▶「西之島新島」誕生(9月)5月頃から海底火山の活動が活発になり、ついに海上に姿を現した。12月には名称も決まり、翌年8月、面積31万6000平方メートルに成長。

読売新聞社

昭和48年9月

1(土)●リビア、外国六石油会社の持株五一％国有化。
2(日)●厚生省が引揚げ者原本六〇万人分紛失と判明。
3(月)●台所用合成洗剤の使用世帯は九二％で、七八％が有害・不安感、と新聞に。
●日本郵船の社員が上司をバットで撲殺。
4(火)●商品相場で暴落相次ぎ、小豆などストップ安。
5(水)●外務省、金大中事件関与で韓国大使館一等書記官・金東雲の出頭を要請。韓国は拒否。
6(木)●恋愛相手の教え子を殺した立教大助教授が、南伊豆で妻子と心中。
7(金)●札幌地裁の福島重雄裁判長、長沼ナイキ訴訟で、初の自衛隊違憲判決。
8(土)●サハロフ、ソ連では反体制派を精神病院に送り薬物投与と、弾圧の実態を暴露。
9(日)●交通遺児ら一六六人の日本一周自転車リレーがゴール(六月八日、東京を出発)。
10(月)●川崎市の昭和電工など三社、東京湾水銀汚染問題で工場廃水停止を漁協に回答。
11(火)●チリで軍事クーデター。アジェンデ大統領は自殺し、社会主義政権崩壊。
12(水)●和歌山地裁、公務員の争議禁止は違憲と判決。
13(木)●住宅公団の住民調査。老いた親と同居可能な4DK以上の希望者が九割。
14(金)●英で日産が輸入車一位となり、大手販売会社が輸入禁止を政府に要求。
15(土)●国鉄、中央線にシルバーシートを設置。
16(日)●西之表市でポルトガル伝来火縄銃が盗まれる。
17(月)●尾瀬ケ原が急激に乾燥化している、と新聞に。
18(火)●国連、東西ドイツ・バハマの加盟を承認。
19(水)●東京高裁、公務員の政治行為一律禁止に違憲。
20(木)●厚生省が無認可保育所解消方針決定と新聞に。
21(金)●日本と北ベトナムが国交樹立。
22(土)●沖縄県、米三三基地返還要望書を外相に送付。
23(日)●アルゼンチン大統領に一八年ぶりペロン復活。
24(月)●小沢征爾、ボストン交響楽団常任指揮者就任の披露演奏会を開催。
25(火)●滋賀銀行山科支店の女性行員が四億八〇〇〇万円を横領と発覚(10月21日逮捕)。
26(水)●二年前焼失した東京・日比谷の松本楼が再開記念に一〇円カレーをサービス。
27(木)●熊本県、水俣湾全域に水銀ヘドロと議会報告。
28(金)●日仏首脳会談で「モナ・リザ」の日本公開決定。
29(土)●筑波大学設置法公布。母体は東京教育大学。
30(日)●原子力船母港のむつ市で、革新市長が当選。

▲巨人優勝に阪神ファン暴れる(10月22日)セリーグの優勝をかけた阪神―巨人戦が甲子園球場で行われ、阪神が敗れたためにファンが興奮。一部が巨人選手に暴行した。

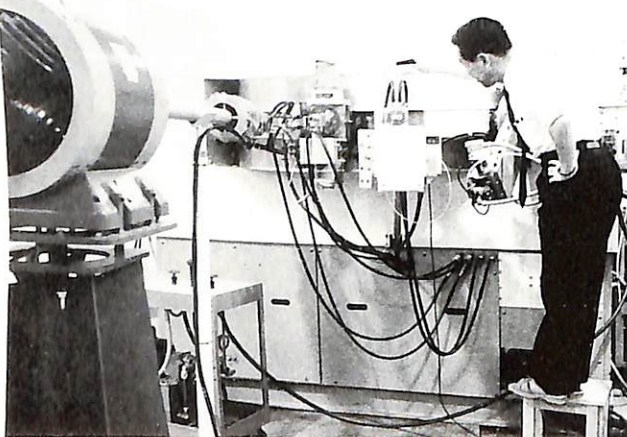
共同通信社

▲シルバーシート登場(9月15日)「敬老の日」のこの日から、中央線の電車に、1編成につき12~14席設置された。以後、国鉄各線に広がり、昭和50年には私鉄にも導入された。

共同通信社

▶日ソ共同声明(10月10日)訪ソ中の田中首相(左)とブレジネフ書記長(中央)は、「諸懸案の協議を継続する」ことで合意した。北方領土返還問題は玉虫色の結着となった。

タス/共同通信社

▶米空母「ミッドウェー」横須賀に入港(10月5日)日米政府の合意により、米軍の西太平洋戦略の一環として、以後3年半の間、横須賀港を母港とすることになったもの。革新団体や住民が、激しい反対運動を展開した。

共同通信社

▶第4次中東戦争勃発(10月6日)エジプトとシリアがイスラエルを奇襲した。イスラエルは10日頃から反撃を開始、10月23日、イスラエル有利のうちに戦闘は終結した。写真は反撃するイスラエル軍。

◀サイクロトロン治療システムが完成(10月23日)東大医科学研究所に米国製の装置が導入された。中性子ビームで癌細胞を破壊するもので、X線照射などでは対応できない種類の癌にも効果がある。

共同通信社

共同通信社

昭和48年10月

1(月)●太陽、神戸両銀行が合併し太陽神戸銀行(現・さくら銀行)発足。
2(火)●伊勢神宮で六〇回目の式年遷宮が始まる。
3(水)●北海道開発庁、大雪山縦貫道の建設を断念。
4(木)●公取委、タバコホルダー一九製品にニコチン・タール除去率の誇大表示で警告。
5(金)●服部時計店(現・セイコー)、世界初の液晶デジタル腕時計「セイコークオーツ」を発売。
6(土)●第四次中東戦争勃発。
7(日)●硫黄島の旧島民が帰島運動を開始、と新聞に。
8(月)●伊共産党、キリスト教民主党との「歴史的妥協」政策を発表。
9(火)●結核予防審議会、X線検査の回数減など答申。
10(水)●一七年ぶりの日ソ首脳会談で共同声明発表。
11(木)●シリアのラタキア港で、日本の貨物船がイスラエル軍艦の砲撃を受け炎上、乗員は無事。
12(金)●藤波行雄、一二八安打で東都大学野球新記録。
13(土)●国民総背番号制に反対する中央会議開催。
14(日)●タイで学生デモ隊と警察衝突。一八〇人死亡。
15(月)●石坂公成、照子夫人と共同発見のアレルギー原因物質「IgE」を東京の学会で発表。
16(火)●中央競馬八百長事件で騎手・平田満を逮捕。
●鉛公害の東京・牛込柳町交差点付近で都平均の三倍以上の癌患者が発生、と新聞に。
17(水)●OPEC、原油価格二一％値上げを宣言。
18(木)●川崎市の日本石油化学工場で爆発。二人死亡。
19(金)●プロ野球パリーグ、初のプレーオフ第一戦。
20(土)●革マル派一七〇人、中核派拠点一二カ所襲撃。
21(日)●セブンスターの売れ行き急増、と新聞に。
22(月)●通産省、急騰中の灯油価格調査結果発表。全国平均一八リットル三八六円で、四〇〇円を警戒。
23(火)●対日原油価格三〇％値上げ。第一次石油危機。
●江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞と決定。
24(水)●半村良、第一回泉鏡花文学賞を受賞。
25(木)●メジャー五社、対日原油供給一〇％削減通告。
26(金)●運輸省、オートバイの変形ハンドル使用禁止。
27(土)●カラーテレビの売り上げ減り在庫増と新聞に。
28(日)●神戸で革新市長再選。六大都市を革新独占。
29(月)●通産省、化学工場の爆発事故続出に、二〇〇〇カ所の高圧ガス工場を総点検と発表
30(火)●日銀、一〇月の卸売物価指数は前年比一[illegible]％上昇と発表。昭和[illegible]年以来の暴騰
31(水)●基地公害調査団、政府として初めて沖縄嘉手納基地に立ち入り調査。

日刊スポーツ

▲富士グランドチャンピオン最終戦で惨事（11月23日）静岡県の富士スピードウェイで行われ、34台が出場。スタート直後に衝突事故が発生し、4台の車が炎上、レーサーの中野雅晴が死亡した。

▼関門橋開通（11月14日）山口県下関市と北九州市門司区の間に架けられた、全長1068メートルの吊り橋で、片側3車線の道路橋。これにより、本州と九州の高速道路が接続された。

朝日新聞社

朝日新聞社

▲熊本の大洋デパート火災（11月29日）2〜3階の階段から出火し、地上9階（一部13階）の3階以上を全焼、客と従業員104人が死亡し、108人が重軽傷を負った。デパートは改装中でスプリンクラーが稼働しておらず、避難誘導もなかった。

読売新聞社

▲ブラジルから「勝ち組」帰国（11月17日）終戦後も日本の勝利を信じ、「負け組」との対立から孤立した生活を送っていた3家族14人が、50年ぶりに帰国した。翌日、皇居と靖国神社を訪ね、故郷の沖縄に向かった。

▼森永砒素ミルク事件、結着へ（11月28日）差し戻し審で徳島地裁は、森永乳業の過失を認める判決。これを受け、関係者が、患者の救済や損害賠償などについて協議を開始、翌年にかけて合意した。

共同通信社

▼巨人、V9達成（11月1日）プロ野球日本シリーズ巨人ー南海の第5戦が、東京の後楽園球場で行われ、5対1で勝った巨人が4勝1敗で9年連続日本一となった。最優秀選手は堀内恒夫投手。写真はV9戦士たち。

昭和48年11月

1（木）●韓国、金大中事件で在日大使館の金東雲の関与を認め謝罪（2日、事件収拾で日韓合意）。
●巨人、プロ野球日本シリーズで九連覇を達成。
2（金）●通産省、買い占め騒ぎのトイレットペーパーの品不足を否定する、異例の談話発表。
3（土）●前年の就職者、女性が男性抜くと労働省調査。
4（日）●放送大学に自衛隊が大量入学検討、と新聞に。
5（月）●東京電力、暖房緩和やネオンの節減など要請。
●テニスの神和住純、初のプロ転向を表明。
6（火）●日航、燃料不足で国際線臨時便の減便を発表。
7（水）●鎌倉市、マイカーでの初詣で全面拒否を決定。
8（木）●エクソンなど、対日原油削減を二五％に拡大。
9（金）●薬も不足、病院で数百種が入手困難、と新聞に。
10（土）●「水戸黄門」「大岡越前」などテレビドラマは連続形式の時代ものが隆盛、と新聞に。
11（日）●全国一一四ヵ所で「物価メーデー」開催。
12（月）●徳島市の森永砒素ミルク被害者の女子短大生、厚生省の調査カード破り捨て自殺。
13（火）●国鉄、二五四線区中、黒字は新幹線・山手線・高崎線・東北本線の四線だけと発表。
14（水）●瀬戸内晴美、平泉の中尊寺で剃髪し仏門へ。
15（木）●兵庫駅前に公団初の二〇階建て高層住宅完成。
16（金）●政府、石油緊急対策要綱を決定。
17（土）●百貨店協会、開店時間三〇分繰り下げを決定。
●富士市の製紙業界、首都圏にトイレットペーパー一〇〇〇万個の緊急輸送を決定。
18（日）●学用品も高騰、ノートは八割値上げと新聞に。
19（月）●東京地検、灯油買いだめを消防法違反で起訴。
20（火）●㈱セブン・イレブン・ジャパン設立。
21（水）●紅白歌合戦出演選考で、美空ひばりが落選。
22（木）●政府、「親アラブ」への中東政策転換を発表。
23（金）●初のガソリンスタンド休日休業が実施される。
24（土）●元柔道金メダルのアントン・ヘーシンク、ジャイアント馬場と組みプロレスにデビュー。
25（日）●モノ不足に便乗して大豆・木材・繊維などを買い占めた業者が、価格暴落で苦況、と新聞に。
26（月）●東京行きオランダ航空機、バグダッド上空で乗っ取られる（28日解放）。
27（火）●公取委、石油連盟と元売り一三社を価格協定・出荷制限など独禁法違反容疑で強制調査。
28（水）●徳島地裁で、森永砒素ミルク中毒事件に有罪。
29（木）●熊本市の大洋デパートで火災。一〇四人死亡。
30（金）●都のゴミ最終処分場「新夢の島」ついに満ぱい、一二月からは新・新夢の島を利用。

朝日新聞社

▲千里ニュータウン、再分譲（12月19日）この年10月、情実分譲や不正転売が発覚。大阪府が持ち主から返還させた20区画が再分譲となった。競争率は3615倍に達した。

▶14億円取り付け騒ぎ（12月14日）愛知県の豊川信用金庫本支店に、5000人が殺到。女子高生の「豊川信金がつぶれる」という冗談が、電話の口コミで一気に広がった。

時事通信社

◀「パイオニア10号」木星に接近（12月3日）アメリカが打ち上げた、人類初の木星探査機。地球外生命へのメッセージも搭載した。写真は同機が撮影した木星。

WWP

共同通信社

朝日新聞社

◀江崎玲於奈にノーベル物理学賞（12月10日）半導体のトンネル効果の発見などが認められた。同賞では湯川秀樹、朝永振一郎に次いで日本人としては3人目。写真はこの日スウェーデン国王（右）から賞状を受ける江崎博士。

▲アメリカのショーター、福岡国際マラソン3連覇（12月2日）最初の5キロを14分36秒で飛び出し、15キロまでは世界最高記録を上回るスピード。終始トップを独走し、この年世界2位となる2時間11分45秒でテープを切った。

昭和48年12月

1（土）●ピルは未認可だが使用者二〇万人、と新聞に。
2（日）●福岡国際マラソンでショーターが三連覇。
3（月）●米探査機「パイオニア10号」、木星写真を電送。
4（火）●一一月の輸出認証額、三八億ドル、前年同月比四四％の伸びで史上最高。
5（水）●TBS、深夜テレビを一二時で自粛と発表。
6（木）●国連大学の日本設置が決定。
7（金）●水産庁、ハワイ沖などで燃料切れのまま漂流中のマグロ漁船一七〇隻の救援を決定。
8（土）●門真市の松下電器倉庫でテレビ一万台焼失。
9（日）●卸売物価が一ヵ月で三％超す異常高騰と日銀。
10（月）●三木武夫、政府特使として中東に出発（14日、「正義はアラブに」とイスラエルを非難）。
11（火）●都個人タクシー協会、「燃料よこせ」とデモ。
12（水）●石油不足で「秘密貯油施設」が横行、東京消防庁はすでに一二〇件発見、と新聞に。
13（木）●「のんびり行こうよ」などで知られるコマーシャル界の「鬼才」杉山登志が自殺。
14（金）●愛知県の豊川信用金庫で高校生の冗談から取り付け騒ぎ（〜15日。一四億円を払い戻し）。
15（土）●関東が二八日連続異常乾燥。水力発電は激減。
16（日）●尾西市実施の灯油斡旋販売に千余人が行列。
17（月）●全国の路線バスに一律一〇円上乗せと決定。
18（火）●証券市場が門戸開放され、欧米六社が上場。
19（水）●運輸省、燃料不足のため航空三社に航空機の次年度購入半減を指示したと発表。
20（木）●北海道の登別温泉の熊牧場で、燃料不足から羆五五頭を射殺。
21（金）●小坂明子が歌う「あなた」発売。
22（土）●公定歩合、この年四度目の引き上げで、明治一八年以来最高の九％に。
●ブルース・リー主演「燃えよドラゴン」封切。
23（日）●ペルシャ湾岸産油国、原油二倍値上げを決定。
24（月）●丸谷才一、「四畳半襖の下張」裁判で野坂昭如への起訴不当と弁護証言。
25（火）●OAPEC（アラブ石油輸出国機構）、日本など「友好国」への石油必要量の確保を表明。
26（水）●民間大手の冬期賞与、前年の四割増と新聞に。
27（木）●東京都職員に公務員初のインフレ手当支給。
28（金）●味の素が石油原料の調味料製造中止と新聞に。
29（土）●文部省、次年度に五医大開校を決定。全都道府県に医大・医学部設置へ。
30（日）●京成上野―京成成田間にスカイライナー運行。
31（月）●覚醒剤検挙が前年より倍増、と新聞に。

俄楽多市

流行語
中学生のカップルも誕生

「同棲」。前年三月に始まった上村一夫のマンガ「同棲時代」や、この年のヒット曲、南こうせつとかぐや姫の「神田川」がきっかけとなって、若い人々に同棲が憧れのライフスタイルとなった。しかもその年齢がどんどん若年化し、京都や博多では中学二年のカップルも登場、生活を無視して憧れに突進する若者の存在を印象づけた。

「じっとガマンの子であった」。大塚のボンカレーのCM。笑福亭仁鶴が人気マンガ「子連れ狼」のパロディで「三分間待つのだぞ」と言うと「腹が減ってもじっとガマンの子であった」というナレーションが続く。その滑稽さが受け、オイル・ショック後の耐乏生活の合い言葉としても使われた。

「せまい日本　そんなに急いでどこへ行く」。この年の全国交通安全運動の標語。昭和四一年から始まった標語の募集は数々の傑作を生んだが、これはユーモラスな感じが受けて流行語にまでなった。ちなみに作者は高知県土佐市の五四歳になる警官だった。

京都新聞社

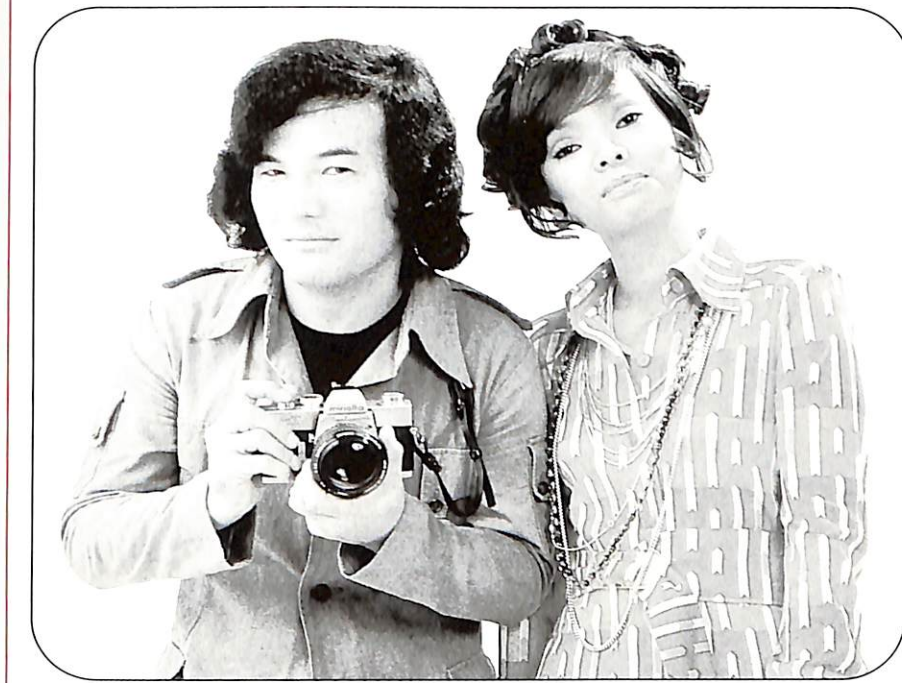
▲京都西本願寺で、3月17日から26日まで、親鸞生誕800年法要が盛大に催された。

ファッション
「ほお紅は不吉」樋口教授の予言的中

この年春から女性のお化粧にほお紅が復活、メーカーの売り上げは前年比三〇％以上アップし、中には五〇％アップした会社もある。ところがこの風潮を「異変の前兆」と警告する学者がいた。風俗史の権威で、国学院大教授の樋口清之さんがその人。同教授によると明治維新の直前、日清、日露戦争の前、そして昭和初期の大恐慌の前にも女性のほお紅が流行したという（この予言はみごと的中、三カ月後、日本はオイル・ショックに見舞われた）。

（「読売新聞」七月一九日）

CM100年

タレント・愛川欽也、研ナオコ

テレビCF「美人しか撮らない――ミノルタカメラSR-T」（ミノルタ）

サラリーマン
未来は支店長 サラリーマンのぼやき

オイル・ショックの後、サラリーマン、それもエリートコースのサラリーマンの間で「未来は択捉支店長」とか「国後所長候補」といった言葉がひとしきり流行した。いうまでもなく択捉も国後も北方領土で、いつソ連から日本に返還されるか、かいもく見当がつかない。同じようにオイル・ショックによって、自分の出世もお先まっ暗、まったく将来の希望がなくなったという意味。オイル・ショックは会社人間をそんな形で絶望させたのであった。

（野口佳子『月給取りの昭和史』）

データ
総理の甲斐性は平均的ホステス並み

時計メーカー「シチズン」がいろんな職業の〝時給換算〟を調査。

新人サラリーマン（大卒）三〇五円、（高卒）二四八円

一流企業トップ七二〇〇円

総理大臣五〇〇〇円

米大統領二万四〇〇〇円

銀座のホステス（トップクラス）一万二五〇〇円、（平均クラス）五〇〇〇円。

つまり首相の甲斐性は平均的ホステス並み。

（「週刊新潮」一月八日号）

シャープ提供

▲六月に、シャープが発売した液晶電卓「エルシーメイト」。

©矢口高雄　講談社

▲6月から「少年マガジン」で連載が始まった矢口高雄作「釣りキチ三平」。その後10年間連載が続いた。

三面記事
賞金は世界一、日本の競馬

競馬が年々さかんになり、それにつれて競走馬を持つ馬主もふえてきた。中央競馬会の場合、馬主は二〇〇〇〇人、そのうち一人で二〇頭以上持つ巨大馬主が一六人いる。馬は走らなければ経費は全部捨て金、競走馬を持つことは危険なバクチと言われるのに、どうしてそんなに持つのか？

実は日本の馬主は世界に類を見ないほど手厚く保護されているからだ。欧米では三、四着まで賞金が出るのが普通だが日本では五着まで出るし、額も高い。その結果、一頭当たりの平均獲得賞金はアメリカの三倍、フランスの四倍で世界最高。一方、ファンへの還元率は売り上げの七五％で韓国、ソ連と並んで世界最低。それでも馬主からは「もっと賞金を上げて」という要求が、たえず中央競馬会へ出される。理由は「馬の値段が上がった」というのだが、これは手っ取り早くもうけるために外国から買おうとするためで、馬を消耗品扱いしている表れと言われている。

（「朝日新聞」七月一九日）

読売新聞社

▲5月15日、川崎市に自転車と原動機つき自転車専用レーン誕生。

共同通信社

◀東京・上野の衣料店が金の延べ板の自動販売機を設置。〇・二グラム三〇〇円。

はやり歌

なみだ恋

作詞　悠木圭子
作曲　鈴木　淳

夜の新宿　裏通り
肩を寄せあう　通り雨
誰を恨んで　濡れるのか
逢えばせつない　別れがつらい
しのび逢う恋　なみだ恋

夜の新宿　こぼれ花
一緒に暮らす　しあわせを
一度は夢に　みたけれど
冷たい風が　二人を責める
しのび逢う恋　なみだ恋

えとせとらレコード博物館提供

▲八代亜紀の最初のヒット曲。バラエティ番組で歌ったのがきっかけでミリオンセラーに。

神田川

作詞　喜多条　忠
作曲　南こうせつ

あなたはもう忘れたかしら
赤い手拭　マフラーにして
二人で行った　横丁の風呂屋
一緒に出ようねって　言ったのに
いつも私が待たされた
洗い髪がしんまで冷えて
小さな石鹸　カタカタ鳴った
あなたは私の体を抱いて
冷たいねって　言ったのよ
若かったあの頃
何も怖くなかった
ただあなたの優しさが　怖かった

あなたはもう捨てたのかしら
二十四色の　クレパス買って
あなたが描いた　私の似顔絵
うまく描いてねって　言ったのに
いつもちっとも似てないの
窓の下には神田川
三畳一間の　小さな下宿
あなたは私の指先みつめ
悲しいかいって　聞いたのよ
若かったあの頃
何も怖くなかった
ただあなたの優しさが　怖かった

日本クラウン提供

▲南こうせつとかぐや姫が歌って大ヒット。叙情的なニューフォークの時代へ。

ブーム
女性に人気！〝リアル〟な京人形

〔京都発〕この夏、京都を訪れた女性観光客にひときわ人気があったのが、四条通り「田中弥」の市松人形。江戸時代から伝わる着せかえ人形だが、人気の秘密は裸にすると男の子には「オチンチン」、女の子には「ワレメちゃん」がついていること。これが「私も脱がせてみたい」という気分にさせたわけ。大きさは普通サイズで三〇せンチくらい。ただ値段は五、六万円から三〇万円までと幅がある。五代目店主によると「昔から子宝人形として嫁入りの時に持たせたものですが、この一、二年は趣味のコレクターがふえ、豪華なものがよく出ます」。

神戸の二二歳のOLは小遣いが貯まると飛んで来て、今では一〇体もコレクションしているという。

（「週刊女性自身」九月八日号）

社会
盗みのプロは粋な着流し姿で

〔岡山発〕ふだんの生活は洋服なのに、盗みに入る時は和服の着流し姿に変わり、しかも運転手つきの超高級乗用車で荒らしまわっていた男が岡山県警に捕まった。警察庁指定五号事件の〝怪盗〟で被害額はわかっているだけで四二八件、約二六〇〇万円。

男は鹿児島県生まれの米村新一（五〇）と言い、岡山、愛知、鹿児島など行く先々に愛人をおき、愛人宅を盗みの基地や盗んだ金の送り先にしていた。乗用車も高級車をもう一台持ち、遊び用と仕事用にきちんと使い分けていた。警察では、なぜ盗む時に、目立ちやすく捕まりやすい着流しになっていたかなど、〝怪盗心理〟について研究するという。

（「朝日新聞」七月二〇日）

この年の初もの
一分間に一〇〇発打てる電動式パチンコ登場

●**不眠症用品の専門売り場**　東京・大丸にオープン。睡眠アドバイザーの助言つき。

●**総菜の出前**　千葉県八日市場市の醬油会社「タイヘイ」が始めたもので、たちまち東京、埼玉にも進出。

●**乗り合いタクシー**　兵庫県西宮市でスタート。

●**女子マラソン**　初の公式大会が西ドイツで開かれ、ロッフェンシュレー選手が二時間五九分二六秒で優勝。

▲この年は円高の影響もあって海外での挙式がブームになった。写真はグアムでの集団結婚式。1組の費用は約5万円。　朝日新聞社

スパイ小説を地で行く日韓〝誘拐劇〟
白昼、2212号室から金大中が消えた!

スパイ小説を彷彿させる衝撃的な事件だった。〝韓国のケネディ〟と呼ばれた金大中が何者かによって白昼堂々、東京・九段のホテルの一室から拉致されたのである。韓国当局が事件にかかわった事実が明らかになるにつれ、日韓両国で世論が沸騰し、政治問題にもなったが、その結着はやはり〝玉虫色〟だった。

現場に残された指紋からKCIA関与説が浮上

昭和四八年八月八日、韓国の野党・新民党の指導者・金大中(キムデジュン)(四七)は、民主統一党党首の梁一東(ヤンイルドン)を訪問するため、東京・九段にあるホテル「グランドパレス」の二二一二号室を訪れていた。

事件は、午後一時半頃、金大中が木村俊夫元官房長官と会うために部屋を出た直後に起こった。向かいの部屋から飛び出してきた男六人に隣の二二一〇号室へ閉じこめられた後、地下に待機していた乗用車で連れ去られたのだ。その後、金大中の行方はようとして知れなかった。事件発生から五日後の八月一三日夜になって、彼は拉致(らち)現場から一二〇〇キロも離れたソウル市内の自宅前に突然現れる。手に包帯を巻き、傷だらけで玄関前に立ちつくしていた。

金大中が閉じこめられた「グランドパレス」の部屋には特大キスリングやザック二つ、長さ二米(メートル)のロープ、実弾七発、血染めのちり紙などが残されており、こうした遺留品からも犯人らが彼をバラバラにして運ぶ予定だった可能性は高く、〝死地を脱しての生還〟は、奇跡と言ってよかった。それだけに、事件の波紋は大きく、日本警察の初動捜査のもたつきぶりは大きな批判を招くことになる。

ところが、事件現場であるホテルの部屋から韓国大使館の金東雲(キムトンウン)・一等書記官の指紋が発見され、続いて金大中を乗せて走り去ったとされる車「スカイライン二〇〇〇GT」が横浜総領事館副領事・劉(ユ)永福(ヨンブク)の所有であることが判明。この二人が韓国中央情報部(KCIA)の工作員だったことから、一気に〝KCIA関与説〟が浮上した。

この物証によって、日本の野党各党は「事件は〝主権侵害〟だ。これを機に対韓援助を打ち切るべき」「政府の煮え切らない態度は日韓政財界の〝癒着(ゆちゃく)〟が原因」と糾弾(きゅうだん)を強めた。初めは公式見解を避けていた田中角栄内閣も、田中伊三次(いさじ)法相が「第六感では某国の秘密警察の仕業(しわざ)」としぶしぶ認め始めたのだった。しかし、結局は、田中首相が「今回の事件は日本の主権に対する侵害とは認めない」との〝統一見解〟を九月に発表。こうした田中政権の〝弱腰〟に助けられ、韓国政府は、一貫して「事件に韓国政府機関は関知しなかった」という声明を繰り返した。

金大中を助けたのは米国のCIAだった

金大中が命をねらわれたのは、東京での事件が最初ではない。日韓会談やベトナム派兵など、ことあるごとに野党代表として政府を糾弾し、マスコミから〝韓国のケネディ〟ともてはやされた金大中は、二年前の一九七一年五月ソウルで、乗っていた車が大型トラックに突っこまれる事件に巻きこまれて大怪我を負ったことがある。この時も、事件への関与をささやかれたのが、一九六一年の軍事クーデターの後に政権を握り、金大中にむきだしの対立感情を抱いていた朴正熙(パクチョンヒ)大統領(当時・五三歳)だった。

「朴大統領の〝金大中憎し〟がピークに達したきっかけは、一九七一年四月に行われた大統領選挙です。朴が不正の限りをつくしたこの選挙で、〝カネなし〟〝組織力なし〟の対立候補、金大中が五四〇万票を獲得。朴の六三五万票にあと一歩と迫ったんですよ。これは放ってはおけないと考えていたはずです」と解説するのは、韓国の政情に詳しいジャーナリストの歳川隆雄氏である。

朴大統領は、この大統領選挙から一八カ月後の七二年一〇月に非常戒厳令を布告、一一月には憲法を停止して、「維新体制」と言われる事実上の〝朴永久政権〟をめざした。

こうした恐怖政治での粛清(しゅくせい)を逃れ、アメリカや日本などの国外で活発に反朴活動を展開していた金大中を襲ったのが、東京で白昼堂々行われた拉致事件だった

▲事件発生から6日目の8月13日、自宅に戻り体験談を語る金大中。 WWP

▶八月二三日、「第六感として某国の秘密警察の仕業に違いないと思う」と発言した田中伊三次法相。 共同通信社

▶昭和48年8月8日、韓国の元大統領候補、金大中が連れ去られた東京・九段のホテル「グランドパレス」の現場。

外から見たNIPPON

台湾の作家・黄春明が描いた日本人“買春ツアー”の結末

佐伯　修

▶黄春明は一九三九年、台湾・宜蘭生まれ。

めこん提供

台北の旅行会社の社員、黄は、もと、故郷の礁渓で教師をしていたインテリで、反骨精神旺盛な正義漢である。また、いささか民族主義的なところもあり、中学で南京出身の歴史教師から、日本軍の残虐行為の話を聴かされ、「生まれるのが遅すぎて、八年の抗戦に参加できず、日本の鬼どもをやっつけて同胞の仇を討つことができなかったのを恨めしく思った」経験の持ち主。つい最近も「みんなの前で新聞記事をもとに極端な民族主義を振りかざして日本人を罵倒したばかり」である。

そんな黄が、よりによって日本人男性の「買春ツアー」のガイドを命ぜられた。しかも、行く先は、故郷の礁渓温泉だという。黄は抵抗を試みるが、結局この仕事を引き受けざるをえなくなった。彼は心の中で叫ぶ「コンチクショウ！」。

この年に発表され、映画化もされた、台湾の作家・黄春明の小説『さよなら・再見』の冒頭である。

登場する七人の日本人男性というのが、またえげつない。男性のシンボルを日本刀にたとえて「七人の侍」を気どり、「千人斬りツアー」などと自称、毎朝、前夜の仲間の“戦果”をノートにとる記録係もいる！　いささか戯画化されてはいるが、これに近いケースもおそらくあったのだろう。黄は、そんな彼らの言行のいちいちに、腸の煮えくりかえる思いだ。立小便する彼らにも、「以前ある先輩が日本人のことを話すたびに、日本の男は道端で立小便するのが大好きだという話が出たが、その頃、私は、そんなことは大したことではないと思っていた。しかし、今、彼らが一列になって、まわりを気にもせず、やりたい時に小便をするのを見て、私はあの先輩がどうしてこんなことにこだわっていたのかよくわかった」（福田桂二訳）。

ただし、したい放題にふるまう日本人の醜態を描く一方で、作者は、真面目すぎる主人公の、どこか滑稽な不自然さと、夜の女や、彼女たちをしきる女将の、対照的な自然さ、したたかさも描いている。作者の苦労人ぶりがにじみ出ているところだ。

最後に、主人公は、列車の中で、一行と、日本かぶれの青年の会話に、嘘の通訳をして、日本人には戦争責任を、青年には中国人としての誇りを自覚させ、溜飲が下がる。が、いつか両者の間には主人公も予期せぬ純粋な親愛の情が生まれていた、というメルヘンチックな結末である。なお、日本の男たちは全員、大正六年前後生まれの軍隊経験者に設定されている。

のである。

「拉致を実際に指揮したのは、李厚洛KCIA部長の可能性が高い。というのも、朴大統領の配下には、李厚洛のほか、金成坤与党・民主共和党財政委員長や金鍾泌首相がいて、特にこの“三羽ガラス”が激しい出世競争を繰り広げていました。その中で、大統領へのゴマすりと、将来の政敵排除という“一石二鳥”を狙った李厚洛が事件を計画したのでしょう。もちろん朴大統領も承知していたはずです」（歳川氏）

この推測を裏づけるように、事件後、KCIA部長の座を追われた李厚洛は、一九八七年九月に「月刊朝鮮」のインタビューで、「拉致命令は自分が下した」と告白している。

ところで、「金大中事件」のもうひとつの謎である“彼が生還できた理由”だが、これについては八三年に金大中みずから、マスコミに次のように語っている。

「（連れこまれた船上から日本海に投げ入れられる直前の）私を救ったのは、米中央情報局（CIA）の飛行機だった。CIAは犯人たちと韓国本国との無線をキャッチし、船の居所をつきとめていたのだ。事件直後にドナルド・レイナード米国務省韓国部長が、『金大中氏を助けろ』と韓国政府や日本政府に強く要請していたことが、私の生命を救うのに一番大きな役割をはたしたと思う」

このほかにも、事件直後、ハビブ駐韓米大使が金鍾泌首相に金大中の安全を求める圧力をかけていた事実も明らかになっている。つまり、韓国を対共産圏の軍事拠点として約四万五〇〇〇人規模の軍隊を駐留させているアメリカが、韓国政府に“やりすぎるなよ”と強くクギを刺したことで金大中は命拾いをした、と見るのがあたっているようだ。

結局、事件の全容は明らかにされないまま、一九七三年一一月二日に金鍾泌首相が来日し、田中角栄首相との間で「ホテルから指紋を発見された）金東雲一等書記官の免職」や「金大中の出国を含む自由」などを確認する“手打ち”が行われた。

しかし、金大中はそれ以後も、来日や政治活動を許されず、軟禁・投獄が繰り返され、一時は死刑判決も受けたが、八二年に釈放。積極的に政治活動を続け、八七年再び大統領選に立候補するが落選、事件から二五年たった一九九七年の大統領選挙にも出馬する予定である。

金大中（1925～）
韓国の政治家。全羅南道出身。一九六〇年国会議員に初当選。七一年大統領選で朴正熙に敗れる。その後、日米間を往復して反朴運動を展開する。

▶事件に関し日韓両国で真相を求める世論が起こった。写真は一〇月二日、ソウルでの学生デモ。

時事通信社

往きて還らぬ

▲10月22日　パブロ・カザルス(96)
世界的に知られるスペインのチェロ奏者。1919年カザルス管弦楽団を創立し、指揮者としても活躍した。

▲7月20日　ブルース・リー(32)
香港の映画スター。カンフー映画のドラゴン・シリーズで一世を風靡したが、4作目「燃えよドラゴン」完成後、急逝。

▲4月25日　石橋湛山(88)
政治家。戦前は自由主義者として知られ、戦後政界入り。通産相などを歴任、昭和31年首相となったが2ヵ月で辞任。

▲11月13日　サトウハチロー(70)
詩人で、歌謡曲・童謡の作詞も多い。詩集『おかあさん』はベストセラーに。小説家の佐藤紅緑は父、愛子は妹。

▲8月31日　ジョン・フォード(78)
アメリカの映画監督で、西部劇の名作「駅馬車」や「怒りの葡萄」などを製作。4度アカデミー監督賞を受賞。

▲4月27日　吉田富三(70)
元東大教授。病理学者で、癌の権威。昭和18年吉田肉腫を発見。2度学士院恩賜賞を受賞し、34年文化勲章受章。

▲3月6日　パール・バック(80)
アメリカの小説家。1931年『大地』(3部作)でピュリッツァー賞、1938年、ノーベル文学賞。ほかに『竜子』など。

▶9月21日　五代目古今亭志ん生(83)
落語家。飄逸な語りで人気を博し、落語協会会長もつとめた。昭和三一年芸術祭賞受賞。十八番に「火焔太鼓」など。

▲4月30日　大佛次郎(75)
小説家。「鞍馬天狗」シリーズで人気を確立。昭和39年文化勲章受章。『パリ燃ゆ』などユニークな史伝も多い。

▲4月4日　菊田一夫(65)
劇作家。戦後、ラジオドラマ「鐘の鳴る丘」「君の名は」が大ヒット。ミュージカルにも先鞭をつけた。

▼4月8日　パブロ・ピカソ(91)
スペインの画家で、20世紀最大の巨匠。「青の時代」などを経て、キュビスムを創始。1937年「ゲルニカ」を制作。

▲11月23日　早川雪洲(87)
ハリウッドで活躍した、日本人初のスター。1957年「戦場にかける橋」の日本軍大佐役は、大好評だった。

▲10月21日　我妻栄(76)
法学者、元東大教授。民法の権威で、戦後民法の成立に尽力。昭和39年文化勲章受章。著書に『民法講義』など。

既刊30冊! 1940年代と1960年代がそろいました。

1974 昭和49年
週刊 日録20世紀 9.30 ¥560 講談社

「ベルばら」ブーム!
立花「金脈レポート」、田中内閣にトドメ
「セブンイレブン」1号店オープン!
"大統領の犯罪"でニクソン辞任

週刊 YEAR BOOK 日録20世紀

第31号 9月16日(火)発売 定価560円
毎週火曜日発売 講談社 本体533円

1974[昭和49年]

●特集
「ベルばら」は宝塚の舞台でも大ヒット! 少女マンガブームを支えた作家たち/田中角栄、二年半で内閣崩壊! 立花隆「金脈レポート」がトドメに/"二四時間都市"時代を先取りした「セブン・イレブン」一号店オープン!/解明された"大統領の犯罪" ウォーターゲート事件でニクソン辞任

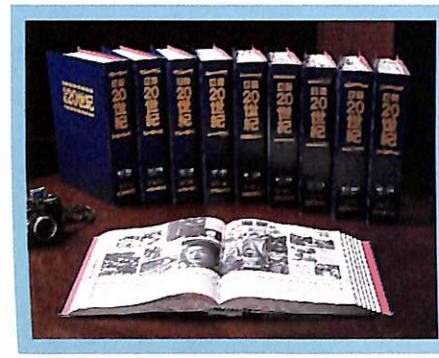
●ニュース・ファイル
フォト+日録で再現する365日…エジプトとイスラエル停戦(1月18日)/朝日カルチャーセンター開講(4月1日)/日本女性登山隊マナスル登頂(5月4日)/国電五駅で禁煙タイム開始(7月1日)/長嶋茂雄、後楽園球場で引退式(10月14日)

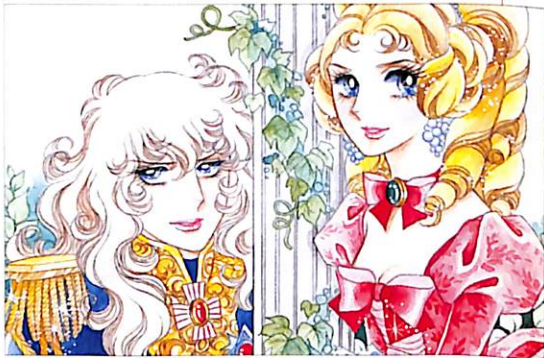
●人物クローズアップ
小野田寛郎元少尉、ルバング島から生還

●決定的瞬間
朴正熙大統領を狙った三発の銃声

●美の出会い
一五〇万人を集めた「モナ・リザ展」

●女たちの肖像…高野悦子の"映画に猪突猛進"/勝者・敗者…"ジャンボ"尾崎、グランドスラム!/証言・あの日この日…堀多恵子、團伊玖磨/20世紀博物館…日本はきもの博物館(福山市)/「現場」を歩く…連続企業爆破事件と"三菱村"/外から見たNIPPON…タイの知識人とエコノミック・アニマル

●ベストセラー…『かもめのジョナサン』/スターと名場面…「竜馬暗殺」「青春の蹉跌」/モノ語り'74…「あさげ」「ポラロイドSX・70」「くるくるドライヤー」

日録20世紀専用バインダー

高級感あふれる特製バインダーを用意しました。「日録20世紀」全100巻を10冊ずつ年代順にバインダーにとじてそろえれば、「20世紀」ビジュアル百科のできあがり。10年ごとに分類するためのシールも添付。取りはずしは簡単で、整理にも便利、じょうぶな仕上がりです。あなたの書斎を飾るホーム・ライブラリーとして、永く保存してお楽しみください。バインダーは1部1300円(税別)。全国の書店でお求めください。

■既刊好評発売中

バックナンバーは、お近くの書店でお求めください。創刊号のみ282円(税別)です。直接弊社にご注文の場合は、冊数に関係なく、送料200円のご負担となります。なお、代金と送料は先にお送りください。申込先 講談社読者サービス係 電話03-5395-3676

創刊号1959[昭和34年] 第2号1964[昭和39年] 第3号1945[昭和20年] 第4号1970[昭和45年] 第5号1963[昭和38年] 第6号1958[昭和33年] 第7号1972[昭和47年] 第8号1980[昭和55年]

第9号1976[昭和51年] 第10号1989[平成元年] 第11号1960[昭和35年] 第12号1961[昭和36年] 第13号1962[昭和37年] 第14号1965[昭和40年] 第15号1966[昭和41年] 第16号1967[昭和42年]

第17号1968[昭和43年] 第18号1969[昭和44年] 第19号1941[昭和16年] 第20号1942[昭和17年] 第21号1943[昭和18年] 第22号1944[昭和19年] 第23号1946[昭和21年] 第24号1947[昭和22年]

第25号1948[昭和23年] 第26号1949[昭和24年] 第27号1950[昭和25年] 第28号1923[大正12年] 第29号1971[昭和46年] 第32号1975[昭和50年]

■今後の刊行予定
▶第33号1977(昭和52年)9月30日発売
キャンディーズとピンク・レディー旋風●王貞治、ホームラン世界一を達成●"安宅マン"3600人の悲劇●ウガンダ、アミン政権の残虐恐怖政治
▶第34号1978(昭和53年)10月7日発売
日本全土で、カラオケ爆発的ブーム●新実力者・鄧小平来日●「サラ金地獄」で自殺者180人!●英国で世界初の試験管ベビー・ルイーズちゃん誕生

ミニ事典
1973年のキーワード

老人医療費無料化
前年五月成立の老人福祉法改正により、一月一日から所得制限をしたうえで、七〇歳以上の老人約三八〇万人を対象に実施。医療費は国が三分の二、地方自治体が三分の一を負担する。しかし、この措置によって看護婦・ベッド数の不足を生じたため、昭和五七年に老人保健法が定められ、一部自己負担となった。

▲2月14日、変動相場制初日の東京銀行本店。最上段が円・ドル相場。

変動相場制
外国為替市場の需給関係によって、その時々の通貨価値が決定される制度。正式には変動為替相場制。二月一四日、それまでの一ドルを三〇八円とする固定相場制から移行。アメリカが日本の輸出攻勢で貿易赤字を六四億ドルにも拡大、円の切り上げを強く迫ったため、急激な円高に不安を持つ政府がとったやむをえざる選択だった。この変動相場制移行によって一ドル二七〇円台になり、産業界の体質強化、技術開発指向が促進された。

投機防止法
正式には「生活関連物資等の買占め及び売惜しみに対する緊急措置法」。田中内閣が三月九日の閣議で決定し国会上程、七月六日、公布・施行された。前年来、田中内閣が掲げてきた「日本列島改造論」は商社の投機意欲を刺激、米、木材などの買い占め・売りおしみを横行させ、卸売物価を高騰させた。投機防止法はその非難にこたえて定められたもの。

クーリングオフ
商品などを買う場合、一定期間内であれば無条件で購買契約を解除できる制度。クーリングオフ・ピリオド(頭を冷やす期間)の略。この頃、訪問販売や割賦販売で販売者・消費者間のトラブルが続発。三月一五日、政府は消費者を保護するため、割賦販売法を一部改正し、この制度を実施した。

尊属殺人罪
自己または配偶者の直系尊属を殺した罪。一般の殺人より重い、死刑または無期懲役に処せられる。四月四日、最高裁大法廷は尊属殺人事件に対する刑法第二〇〇条の規定は普通殺人罪に比べて厳しすぎ、法の下の平等を定めた憲法に違反するとした。平成七年、この規定は刑法から削除された。

自然環境保全法
乱開発による破壊から自然を守るために定められた法律。四月一二日施行。この法律に基づいて五月二日、作家・画家・住民運動代表者など四六人の委員で構成する自然環境保全審議会が組織され、一二月二六日には開発行為などに環境アセスメントを適用する必要を強く訴えた自然環境保全基本方針が策定された。

東京ゴミ戦争
地元への清掃工場建設拒否を続ける杉並区に対して、五月二二日から三日間、江東区が起こしたゴミ搬入阻止闘争。江東区は東京二三区から出るゴミの約七〇パーセントの処理を引き受けていたが、従来より東京都に埋め立て方式の早期中止とゴミの自区内処理を強く訴えていた。都清掃局が杉並区のゴミ収集を中止したため、一時は家庭ゴミが路上に放置される事態となった。

PCB汚染
水産庁は六月四日、PCB汚染状況精密調査結果を発表、河川・海域などで全国的に汚染が広がっている状況を明らかにした。PCB(ポリ塩化ビフェニール)中毒の恐ろしさは昭和四三年のカネミ油症事件で知られ、前年三月、すでに使用・生産中止となっていた。しかし、プラスチック・塗料などの素材として大量に使用されてきたため、なお自然界に三万トンが放出されたままだった。

毎日新聞社
▶東洋紡岩国工場が漁民から買い取ったPCB汚染魚。

資源エネルギー庁
資源・エネルギー行政を統括する通産省の外局。七月二五日設置。資源の安定確保や省エネルギーの促進などを、環境との調整をはかりながら立案する部局として期待された。しかし、二ヵ月後にガソリンスタンド認可をめぐる汚職が発覚、一〇月の石油危機対応にも影響を残した。

シートピア計画
海洋科学技術センターが人間の海底での居住可能性をさぐるために行った実験。九月二四日、静岡県の田子港沖の海底五三メートルに居住基地が設けられ、ヘリウム・酸素・チッソ混合の高圧人工空気の中で、四人が日本で初めて五〇時間二二分にわたる長時間をすごした。

時事通信社
▶海底居住基地。実験は、課題・名称を変えて現在も続けられている。

石油緊急対策要綱
政府が一一月一六日に打ち出した石油危機対策。マイカー使用の自粛、週休二日制の実施などの石油節約運動、企業への行政指導による石油・電力消費の一〇パーセント削減などを内容とした。一二月には石油需給適性化法・国民生活安定緊急措置法のいわゆる石油緊急二法も成立、日本は高度成長から一気に、省エネ・省資源の時代に突入した。

週刊YEAR BOOK/日録20世紀 1973
CONTENTS

●特集
女性週刊誌までが特集を組んだ怪物ハイセイコーの"不敗神話"……2
オイル・ショックで「モノ不足パニック」日本列島"トイレットペーパー狂騒曲!"……6
視聴率五〇パーセントを超えた"超お化け番組"「8時だヨ!全員集合」の秘密……27
スパイ小説を地でいく日韓"誘拐劇"白昼、二二二一号から金大中が消えた!……38
●ニュース・ファイル
フォト+日録で再現する365日……10・30
女たちの肖像
田中真理、ロマンポルノに体当たり 稲葉真弓……9
勝者・敗者
"横紙破り横綱"輪島の実力 阿部珠樹……9
証言・あの日この日 坪内祐三……15・31
20世紀博物館
東京都水の科学館(東京) 桑原茂夫……17
「現場」を歩く
新宿超高層ビル群の四半世紀 山本徹美……26
外から見たNIPPON
作家・黄春明と"買春ツアー" 佐伯修……40
●モノ語り'73
「ごきぶりホイホイ」「押すだけ」「シュガーカット」……19
●人物クローズアップ
瀬戸内寂聴、突然の出家……20
●決定的瞬間
チリ・アジェンデ大統領のラスト・ショット……22
●美の出会い
いわさきちひろ『戦火のなかの子どもたち』……24
ベストセラー……18 スターと名場面……18
俄楽多市……36 はやり歌……37
往きて還らぬ……41 ミニ事典……42

●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター 山口至剛
表紙デザイン 山口至剛デザイン室+渡邉裕…
本文レイアウト デザインオフィス八起き
編集協力 有エービーシープレス 株カマル社 株コミュニケーシ
ョンハウス・ケースリー シド・プロ 有マックス 有マライカ
小原伸夫 鍵和田良輔 小松邦宏 佐野長成 張替政展 藤森雅弘、
結城順・ 吉田忠正
●写真協力
飯田守 今井寿恵 大鷹淑子 乙咩雅一 勝山泰佑 熊谷元一 佐
藤春雄 但馬一憲 浜口タカシ サル・ヴィーダー
朝日新聞社 キーストン 共同通信社 京都新聞社 CORBIS・
BETTMANN 時事通信社 タス 日刊ゲンダイ 日刊スポー
ツ PANA通信社 PPS 毎日新聞社 めこん 読売新聞社
WWP
シャープ 中央競馬ピーアール・センター 東宝 日活 日本クラ
ウン 日本中央競馬会(JRA)
えとせとらレコード博物館 ちひろ美術館

本誌収録写真につき、所在不詳などのため事前連絡ができないものがありました。お心当たりの方は、編集部までご一報ください。

飲み過ぎ
胃のもたれ
胃の痛みに…
太田胃散

自然の良さを生かした
『生薬』の配合にこだわり
時代に媚びず
時代とともに『百十八年』
常に健康を願って
明日に向って歩む
太田胃散

Ohta
株式会社
太田胃散
東京都文京区千石2―3―2

● **生薬の効きめ**
ケイヒ・チョウジ・ウイキョウ・ニクズク・ゲンチアナというような生薬は自然でおだやかな健胃効果を持っています。これらの生薬成分が互いに効力を発揮し、働きの弱った胃をなおします。

● **さわやかな服用感**
胃の酸度を調整し、胃粘膜保護作用のある制酸剤や、消化酵素が配合されています。生薬の芳香味とℓ―メントールの清涼感が胃をスッキリさせ、服用感で効きめの良さがわかる胃腸薬です。

● **自然を生かす**
太田胃散の生薬は芳香性成分を生かすため、できるだけ加工をさけ、自然により近い形にしてあります。これも太田胃散の特長のひとつです。

飲みすぎ・胃のもたれ
胃の痛みに…

太田胃散

雑誌 23704-9/23 T1123704090562
Ⓛ 2001/1/1

印刷 凸版印刷株式会社 製本 本村製本株式会社